

平成 26 年度事業報告書

(平成 26 年 3 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日)

会員の移動状況書

会員種別	員 数		増減数
	本年度末 平成 27 年 2 月 28 日 現 在	昨年度末 平成 26 年 2 月 28 日 現 在	
名誉会員	60	66	-6
永年会員	265	260	5
正 会 員	4203	4379	-176
学生会員	529	641	-112
維持会員	219.5	223.5	-4
特別会員	567	577	-10
公益会員	389	401	-12
計	6232.5	6547.5	-315

①第 3 回定時総会 (定款第 17 条)

日時 平成 26 年 5 月 16 日
場所 五反田文化会館第一会議室 参加者数 106 名

②会誌、研究報告及び資料の刊行 (定款第 5 条(1))

- 学会誌「ぶんせき」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
自 平成 26 年 3 月 5 日	2014 3	6700
至 平成 27 年 2 月 5 日	2015 2	6500
- 和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
自 平成 26 年 3 月 5 日	63 3	2100
至 平成 27 年 2 月 5 日	64 2	2100
- 英文論文誌「Analytical Sciences」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
自 平成 26 年 3 月 10 日	30 3	650
至 平成 27 年 2 月 10 日	31 2	640
- 英文論文誌「X-ray Structure Analysis Online」を下記のとおり発行した。
本誌はオンラインジャーナルである。

発行年月日	巻 号
自 平成 26 年 3 月 10 日	30 3
至 平成 27 年 2 月 10 日	31 2
- メールマガジンを毎月 1 回発行した (配信数 4000)。
- 次の書籍を編集し、発行した。
 - 1) 「現場で役立つ化学分析の基本技術と安全」(オーム社)
 - 2) 「LC/MS, LC/MS/MS の基礎と応用」(オーム社)
 - 3) 第 2 回 LC 分析士初段試験解説書
- 教育用 DVD 並びにビデオシリーズの頒布を行った。

③講演会、講習会及び研究会の開催 (定款第 5 条(2))

- [研究発表会]
- 第 74 回分析化学討論会
日時 平成 26 年 5 月 24 日～平成 26 年 5 月 25 日
場所 日本大学工学部 (福島県郡山市) 参加者数 628 名
 - Separation Sciences 2014
日時 平成 26 年 9 月 5 日 (金)
場所 幕張メッセ国際会議場 参加者数 約 200 名
 - 第 63 年会
日時 平成 26 年 9 月 17 日～平成 26 年 9 月 19 日
場所 広島大学東広島キャンパス 参加者数 1182 名
 - 1st Asian Symposium on Analytical Sciences
日時 平成 26 年 9 月 17 日
場所 広島大学東広島キャンパス 参加者数約 150 名
 - 特別公開シンポジウム「産業界における研究開発と分析ソリューション」

日時 平成 26 年 9 月 17 日 (水)
場所 広島大学東広島キャンパス 参加者数約 150 名
• 日本分析機器工業会・日本分析化学会・科学技術振興機構
共同主催「ナノ素材とナノ計測が拓くイノベーション」
日時 平成 26 年 12 月 18 日 (木) 13 時～18 時
場所 日本学術会議講堂 参加者数 約 100 名

[講習会]

- 第 32 回分析化学基礎セミナー (無機分析編)
日時 平成 26 年 6 月 24 日・25 日
場所 飯田橋レインボービル 参加者 64 名
- 分析信頼性実務者レベル講習会「第 16 回金属分析技術セミナー」
日時 平成 26 年 7 月 31 日・8 月 1 日
場所 主婦会館プラザエフ 参加者 22 名
- 第 18 回分析化学における不確かさ研修プログラム
日時 平成 26 年 6 月 26 日・27 日
場所 日本電気計器検定本社 参加者 15 名
- 第 19 回分析化学における不確かさ研修プログラム
日時 平成 26 年 10 月 30 日・31 日
場所 日本電気計器検定本社 参加者 9 名
- 分析信頼性実務者レベル講習会「第 18 回水中の微量金属分析」
日時 平成 26 年 10 月 17 日及び平成 27 年 1 月 30 日
場所 飯田橋レインボービル 参加者 18 名
- 分析信頼性実務者レベル講習会「第 13 回セラミックス原料・鉱石類分析技術セミナー」
日時 平成 26 年 10 月 30 日・31 日
場所 家の光会館 参加者 22 名
- 分析信頼性実務者レベル講習会「第 15 回ダイオキシン類分析技術セミナー」
日時 平成 26 年 10 月 23 日・24 日
場所 ㈱島津製作所東京支社 参加者 16 名
- 第 3 回分析化学の基本と安全セミナー
日時 平成 27 年 2 月 5 日
場所 ㈱島津製作所東京支社 参加者 63 名

④調査、研究及び建議 (定款第 5 条(3))

[JIS]

- 平成 25 年度に日本規格協会の委託に基づき、JIS Z2615「金属材料中の炭素定量方法通則」並びに JIS Z 2616「金属材料中の硫黄定量方法通則」の改正原案作成をしていたが経済産業省管轄の金属・無機材料技術専門委員会の審議を経て、平成 27 年 3 月 20 日改正版として発行される。

[技能試験]

- 事業所を対象とした技能試験を次のとおり実施し、結果に基づく「技能試験成果報告書」を公開した。
- ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第 8 回トレーサビリティと不確かさ理解のための分析技能試験」
 - ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第 16 回ダイオキシン類分析」
 - ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第 10 回プラスチック中有害金属成分の分析」(有害物質規制/RoHS 指令対応)

[標準物質]

- これまで開発してきた各種標準物質の保管、管理並びに社会への供給活動を継続して実施した。
また、新たに次の標準物質の開発を行った。
- 銲科学技術振興機構の研究開発成果展開事業で採択された課題の成果に基づき放射能分析用大豆認証標準物質 (粉末状、低濃度) を開発し、頒布を開始した。
 - 銲科学技術振興機構の研究開発成果展開事業で採択された課題の成果に基づき放射能分析用牛肉認証標準物質 (フレーク状) を開発し、頒布を開始した。

[関係団体との協力]

- 次の諸団体に参画し、種々の調査、建議に協力した。
日本学術会議
日本化学連合
JABEE/化学分野 JABEE 委員会
(一社)化学情報協会
(公社)新化学技術推進協会グリーンサステイナブルケミストリーネットワーク
(公社)日本工学会
標準物質協議会
ASIANALYSIS 国際諮問委員会

Asian Analytical Chemistry Network

- 次の委員会に委員を派遣して各種規格の立案等に協力した。
 - (一財)日本規格協会
 - (一社)日本化学工業協会
 - (財)産総研計量標準管理センター
 - (一社)日本試薬協会
 - (公社)日本セラミックス協会
 - (一社)日本環境測定分析協会
 - (公財)日本適合性認定協会
 - (一社)日本分析機器工業会
- ⑤ 研究の奨励及び研究業績の表彰 (定款第 5 条(4))
 - 2014 年度学会賞を次のとおり授与した。
 - 大塚 浩二 君「ミクロスケール電気泳動の高性能化・高機能化に関する研究」
 - 谷口 功 君「機能電極を用いた生体分子の生物電気分析化学的解析とその応用」
 - 前田 瑞夫 君「DNA ソフト界面を用いるバイオ分析法の開発応用」
 - 2014 年度学会功労賞を次のとおり授与した。
 - 松本 清 氏「食品評価のための分析法の開発と学会への貢献」
 - 2014 年度技術功績賞を次のとおり授与した。
 - 下山 昌彦 氏「非破壊分光分析のための多変量データ解析法の開発と科学捜査への応用」
 - 田口 正 氏「水銀分析の応用技術開発並びに普及における国際的貢献」
 - 樋口 慶郎 氏「実用化を志向した高機能フローインジェクション分析システムの開発」
 - 2014 年度奨励賞を次のとおり授与した。
 - 新田 英之 君「ナノ操作・マイクロ分析システムを用いたバイオ分子の極限計測」
 - 一番ヶ瀬智子君「発蛍光標識化タンパク質の網羅定量解析法の開発と応用」
 - 伊野 浩介 君「細胞解析を指向した電気化学デバイスの開発に関する研究」
 - 佐藤 雄介 君「核酸特定部位に結合する蛍光性分子の開発とその分析化学的応用」
 - 末吉 健志 君「ミクロスケール電気泳動を基盤技術とした迅速・高感度・高分離能分析法の開発」
 - 2014 年度先端分析技術賞を次のとおり授与した。
 - JAIMA 機器開発賞
 - 井上 嘉則 氏「特異的捕捉機構を有する新規抽出分離剤の開発とその応用」
 - 河合 潤 氏、国村 伸祐 氏「ポータブル全反射蛍光 X 線分析装置の研究と開発」
 - CERI 評価技術賞
 - 垣内 隆 氏「イオン液体塩橋の発明と pH 計測および単独イオン活量の精密計測への応用」
 - 2014 年度有功賞を次のとおり授与した (敬称略)。

佐藤 勇	浮田 忍	田川 直樹	北村 文人
山本 孝一	辻 義之	渡部 悦幸	橋本 晋
町田 俊幸	桜井 康晴	新分 成人	高橋 早苗
庄 晃	嶋田 光治	韭沢 雅春	福田 政志
後藤 健治	柳井 靖男	永吉 達也	佐々木幸男
古川 民彦	三枝 明男	高崎 孝治	保戸田一芳
大西 和則	浅沼 敏幸	西本 吉兵	小谷 啓徳
浦野 吉雅	山崎 彰	斉藤 正行	玉野 洋二
菊地 健治	武内 保	新谷 良英	太田 初一
田辺 幸男	宮田 重幸	河野 良二	本田 孝好
内倉 智治			
 - 2013 年「分析化学」論文賞を次のとおり授与した。
 - 論文題名『我が国の沿岸域における放射性核種の堆積物—海水分配係数—土壌から海水への放射性核種溶出率の推定—』著者名: 田上 恵子¹, 内田 滋夫¹ (放射線医学総合研究所) 所載ページ: 「分析化学」第 62 巻第 6 号, 527-533 ページ
 - 他機関による表彰及び研究助成に対して、会員を候補者として推薦した。
- ⑥ その他前条の目的を達成するために必要な事業 (定款第 5 条(5))
 - 分析士認証事業を次のとおり行った。
 - 液体クロマトグラフィー分析士五段試験を行い、合格者の登録を行った。

液体クロマトグラフィー分析士四段試験を行い、合格者の登録を行った。
液体クロマトグラフィー分析士三段試験を行い、合格者の登録を行った。
液体クロマトグラフィー分析士二段試験を行い、合格者の登録を行った。
液体クロマトグラフィー分析士初段試験を行い、合格者の登録を行った。
LC/MS 分析士四段試験を行い、合格者の登録を行った。
LC/MS 分析士三段試験を行い、合格者の登録を行った。
LC/MS 分析士二段試験を行い、合格者の登録を行った。
LC/MS 分析士初段試験を行い、合格者の登録を行った。
イオンクロマトグラフィー分析士二段試験を行い、合格者の登録を行った。
イオンクロマトグラフィー分析士初段試験を行い、合格者の登録を行った。

【広報】

広報委員会により、本会の活動を記者会見、展示、小冊子の発行ならびにホームページを通して広報した。

【若手交流会】

分析化学討論会において若手ポスター賞選考とポストシンポジウムを実施した。各支部での若手交流会企画を共催および支援し、年会の若手ポスター賞を支援した。

【AACN】

Asian Analytical Chemistry Network に参加し、そのホームページを運用した。

【研究懇談会】

研究懇談会活動を次のように行った。

1) 有機微量分析研究懇談会

【委員長: 荒井健介 (日本薬科大学), 委員 11 名, 会員数 220 名 (個人会員 214 名, 顧問 6 名)】。
委員会を 2 回。第 81 回有機微量分析研究懇談会 第 95 回計測自動制御学会力学量計測部会 第 31 回合同シンポジウムを 6 月 19 日~20 日, 目黒区大岡山 (東京工業大学) で開催 (計測自動制御学会力学量計測部会と共催, 日本分析化学会, 日本化学会, 日本薬学会協賛) し, 特別講演 2 件, 口頭発表 10 件, ポスター発表 22 件, その他各委員会報告および技術研修会を行った。講演会 (第 63 年会 9 月 17 日, 広島大学東広島キャンパス, 招待講演 1 件), 第 5 回マイクロ電子天びん技術研修会 (5 月 30 日, 理化学研究所), 第 6 回マイクロ電子天びん技術研修会 (1 月 23 日, 理化学研究所) および第 3 回マイクロ電子天びんセミナー (座学) (8 月 1 日, キャンパス・イノベーションセンター東京) を開催したほか, 会報 16 号を発行 (2 月) した。

2) ガスクロマトグラフィー研究懇談会

【委員長: 前田恒昭 (産総研), 運営委員会委員 44 名, 会員数 103 名 (個人会員 50 名, 団体会員 41 機関, 名誉会員 12 名)】。
運営委員会を 5 回開催した。研究会開催数: 6 回 (第 330~335 回, 特別講演会, Separation Sciences 2014 講演, JAIMA コンファレンスの講習会開催, 分析年会での講演会を含む)。又, 第 20 回キャピラリーガスクロマトグラフィー講習会 (8 月 6~8 日麻布大学) を開催した。日中韓シンポジウム 2014 (瀋陽・中国) を支援した。Separation Sciences 2014 開催 (最終回, 9 月 5 日, FIA, IC, LC 懇と共催) のとりまとめを行った。ガスクロマトグラフィー誕生 60 周年記念事業として Web ページの更新を行った。会員からの情報, アーカイブ, 活動報告, 過去の講演要旨集等の WEB 掲載も行っている。

3) 高分子分析研究懇談会

【委員長: 佐藤信之 (東レリサーチセンター), 運営委員会委員 15 名, 会員数 134 名 (個人会員 45 名, 法学会員 89 名)】。開催数: 例会 6 回 (第 371~376 回)。さらに第 48 回・第 49 回高分子分析技術講習会 (工学院大学新宿校舎), 第 19 回高分子分析討論会 (10 月 16, 17 日, 名古屋国際会議場・白鳥ホール) をそれぞれ開催した。

4) X 線分析研究懇談会

【委員長: 脇田久伸 (福岡大学), 委員数 33 名, 会員数 136 名 (個人会員数 118 名, 団体会員 18 名)】。開催数: 例会 2 回 (第 249~250 回)。又, 「X 線分析の進歩」第 45 集をアグネ技術センターより出版したほか, 講習会第 19 回「蛍光 X 線分析の実際 (第 8 回)」(7 月 7~9 日,

東京理科大学神楽坂校舎), 第50回X線分析討論会(10月30日~10月31日, 東北大学片平さくらホール)を主催した。

5) 分析試薬研究懇談会

【委員長: 片山佳樹(九州大学), 運営委員会委員17名, 参与委員15名, 会員数103名(個人会員100名, 賛助会員3名)】。開催数: 1回。第63年会において, 分析試薬研究懇談会(9月18日, 広島大学, 講演2件)を開催し, 第5回生涯分析談話会講演会の共催を行った。また, 第11回ホスト・ゲスト化学シンポジウムの共催を行った。

6) 溶液界面研究懇談会

【委員長: 大塚利行(神戸大学), 運営委員会委員14名, 個人会員105名】。開催数: 1回。広島大学で開催された第63年会の「界面・微粒子」セッションの中で, 2件の講演(9月17日)を行った。また, 分析化学学会年会对ける界面に関するセッションの維持を図った。

7) 液体クロマトグラフィー研究懇談会

【委員長: 中村 洋(東京理科大学), 役員会役員の数: 49, 会員数: 251(個人会員: 176, 団体会員: 75)】。開催数: 12回(第273~284回)。又, 第15回特別講演会・見学会(7月16日, 日本生活協同組合連合会商品検査センター), 第20回LCテクノプラザ(2015年1月22~23日, 横浜情報文化センター), LC-DAYS 2014(11月27~28日, 飯坂ホテル聚楽), 運営委員会総会I(6月24日・25日), 運営委員会総会II(2015年2月25日・26日)を開催した。このほか, 関東支部主催第55回機器分析講習会の第2コース「高速液体クロマトグラフィーの基礎と実践」(7月23~25日), 及びJAIMAコンファレンスHPLC講習会(9月4日, 幕張メッセ)を担当し, Separation Sciences 2014(9月5日, 幕張メッセ)をGC, IC, FIA研究懇談会と共催し, 第10回千葉県分析化学交流会(7月18日, 島津アクセス)を後援した。また, 創立40周年記念式典・祝賀会(10月24日, オルガノ)を開催し, 日本分析化学会編の「LC/MS, LC/MS/MSの基礎と応用」(オーム社), 「第2回LC分析士初段試験解説書」(日本分析化学会), 「第1回LC/MS分析士二段試験解説書」(日本分析化学会)の実質的な編集・執筆を担当した。

8) 化学センサー研究懇談会

【委員長: 鈴木孝治(慶應義塾大学), 運営委員会委員5名, 会員数約40名(個人会員約40名)】。研究懇談会講演会(9月17日, 日本分析化学会第63年会, 広島大学にて講演2件)を開催した。また, 8月22~25日に中国の瀋陽にて行われた2014 China-Japan-Korea Symposium on Analytical Chemistry(CJK 2014)に協力した。

9) 電気泳動分析研究懇談会

【委員長: 曾我朋義(慶應義塾大学), 顧問10名, 常任委員13名, 委員33名】。懇談会演会を1回(9月年会時, 広島)開催したほか, 第34回キャピラリー電気泳動シンポジウム(12月, 京都)を開催した。また, 電気泳動分析懇談会賞として寺部茂賞を設立し, 表彰を行った。第一回寺部茂賞は, 京都大学大塚浩二教授が受賞した。

10) イオンクロマトグラフィー研究懇談会

【委員長: 伊藤一明(近畿大学工学部), 運営委員会委員32名, 会員数98名(個人会員85名, 維持会員10社, 団体会員3社)】。2014(第11回)日中韓分析化学シンポジウム(8月22~25日, 中国・瀋陽, GC, HPLC, FIA, 環境分析各研究懇談会と共催), イオンクロマトグラフィー講習会(9月4日, JAIMAコンファレンスと共催), Separation Sciences 2014(SS2014)(9月5日, 幕張メッセ, GC, HPLC, FIA各研究懇談会, JAIMAと共催), イオンクロマトグラフィー講演会(9月17日, 広島大学, 分析化学会第63年会と共催), 第31回イオンクロマトグラフィー討論会(11月20, 21日, 東京・日本大学)を開催した。運営委員会を3回開催。IC分析士初段・2段認証試験の実施に協力した。

11) フローインジェクション分析研究懇談会

【委員長: 今任稔彦(九州大学), 運営委員会委員50名, 会員数160名(個人会員125名, 賛助会員13名, 特別賛助会員22名)】。講演会を3回(19th ICFIA(11月30~12/5日, アクロス福岡), Separation Sciences 2014

(9月5, 幕張メッセ国際会議場), 年会開催中(9月19日, 広島大学)), 講習会を2回(JAIMAセミナー4「これであなたも専門家一流れ分析編」(9月3日, 幕張メッセ国際会議場), および第12回流れ分析技術講習会(7月30日~8月1日, 愛知工業大学)開催したほか, Journal of Flow Injection Analysis 誌の発行(31巻)のための編集委員会を2回(5月23日, 郡山市と12月1日, 福岡市), また褒賞委員会を1回(6月, メール会議)開催した。

12) 環境分析研究懇談会

【委員長: 角田欣一(群馬大学), 運営委員会委員14名, 会員数99名(個人会員93名, グループ会員6名)】講演会を2回(第25回を9月17日第63年会において, 第26回を11月19日東京理科大学においてレアメタル分析研究懇談会と共同で開催した。運営委員会を1回開催した。メーリングリストにおいて関連情報を会員各位に適宜提供した。また, 2014 CJK Symposium on Analytical Chemistry(8月23日~25日, 瀋陽, 中国)に日本側懇談会メンバーとして参加した。

13) 表示・起源分析技術研究懇談会

【委員長: 安井明美(独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構), 運営委員会委員17名, 個人会員105名, 団体会員20社)】。講演会を2回(第11回: 7月25日キリンビール株式会社横浜工場, 第12回: 1月23日東京電機大学東京千住キャンパス)開催した。9月17日第63年会にて講演会を開催した。運営委員会を2回開催した。

14) レアメタル分析研究懇談会

【委員長: 小熊幸一(元千葉大学), 運営委員会委員: 11名, 会員数: 21名(個人会員のみのみ)】。9月17日に講演会並びに運営委員会を第63年会会場(広島大学)にて開催した。また, 11月19日に東京理科大学森戸記念館にて, 環境分析研究懇談会と共同で講演会を開催した。

15) 熱分析研究懇談会

【委員長: 西本右子(神奈川大学), 事務局担当委員2名, 個人会員19名, 団体会員5社)】。講演会を1回(9月16日に第63年会会場において)開催した。またIUMRS-ICA2014(8月25~26日, 福岡大)のシンポジウムA-1「Analytical and Assessment Methods in Materials and Environmental Technologies」に協力した。JASIS2014における講習会, JAIMAセミナー8「これであなたも専門家一熱分析編(2014年9月5日)」を開催した。

16) 溶液反応化学研究懇談会

【委員長: 山口敏男(福岡大学), 運営委員会委員18名, 会員数18名(個人会員18名, 賛助会員0名)】。講演会並びに運営委員会を9月19日の分析化学会第63年会(広島大学)で開催した。

17) 受託分析研究懇談会

【委員長: 福永秀朗(島津テクノリサーチ), 運営委員会委員10名, 会員数19名(個人会員14名, 賛助会員0名, 法人5社)】。第1回総会, 第2回セミナーおよび情報交換会(11月6日, 島津製作所イベントホール(東京))を開催した。セミナー演題5題, 参加者24名。講演会(副題: 受託分析研究懇談会の役割と将来)を1回(9月18日, 第63年会会場(広島大学))開催した。演題1題, 参加者約40名。運営委員会を4回開催した。

【支部】

2014年度の支部活動を次のように行った。

【北海道支部】

1. 役員を選任

支部長	宇都 正幸		
副支部長	久万 健志		
参 与	坂入 正敏		
伊藤八十男	菖蒲 明己	石本 裕	伊藤 純一
片山 則昭	岡野 素彦	小澤 幸男	片岡 正光
高橋 英明	嶋津 克明	関根 敏美	多賀 光彦
那須 淑子	竹中 淳夫	樽井 敏三	中野 益男
松永 勝彦	乗木新一郎	長谷部 清	藤井 清志
吉田 仁志	松久 喜一	三浦 敏明	横沢 龍朗
監 事	黒澤 隆夫	森田みゆき	
庶務幹事	南 尚嗣	村井 毅	
会計幹事	谷 博文	吉村 昭毅	

幹事 石田 晃彦 板橋 豊 伊藤 慎二
 上野 貢生 大澤 雅俊 大津 直史 奥田 弥生
 嶋崎 梯司 加藤 昌子 川口 俊一 菅 正彦
 喜多村 昇 工藤 英博 蔵崎 正明 齋藤 健
 齋藤 徹 堺井 亮介 佐々木 胤則 神 和夫
 鈴木 智宏 高木 英利 高橋 徹 田中 俊逸
 田邊 博義 田原 り子 千葉 真弘 敦賀 昇
 渡慶次 学 富田 恵一 豊田 和弘 中田 耕
 中谷 暢丈 永洞 真一郎 中村 博 西村 一彦
 平間 祐志 古月 文志 福嶋 正巳 藤吉 亮子
 古崎 睦 松井 宏之 諸角 達也 山田 幸司
 叶 深

2. 研究発表会

- 1) 夏季研究発表会 (共催): 7月12日, 苫小牧工業高等専門学校で開催, 一般講演120件, 特別講演2件 (参加者208名)。また懇親会を行った (参加者61名)。
- 2) 化学教育研究協議会 (共催): 11月8日, 北海道大学大学院地球環境科学研究科で開催, 講演1件, 分析化学若手教育研究者による話題提供, 自由討論, 懇親会を行った (参加者69名)。
- 3) 冬季研究発表会 (共催): 1月27~28日, 北海道大学フロンティア応用科学研究棟で開催, 研究発表201件, 特別講演1件 (参加者474名)。また懇親会を行った (参加者37名)。

3. セミナー

- 1) 第30回分析化学緑陰セミナー: 7月19日~21日, 釧路ロイヤルイン (釧路市) にて開催, 講演5件, ポスター講演12件, 懇親会を行った (参加者53名)。
- 2) 特別公開シンポジウム (公開セミナー): 9月4日, 旭川工業高等専門学校, 講演2件 (参加者80名)。
- 3) 第50回氷雪セミナー: 1月10日, ホテルライフォート札幌で開催, 講演3件, 懇親会を行った (参加者47名)。

4. 交流事業

- 1) 若手の会交流会: 7月19日~21日, 釧路ロイヤルイン (釧路市) にて開催の緑陰セミナーに, 九州の若手研究者 (2名) を招待し, 招待講演 (2件) を行った (参加者53名)。

5. 支部ニュースの発行

北海道支部ニュース第49号, 第50号を発行した。

【東北支部】

1. 役員を選任

支部長	我妻 和明				
次期支部長	末永 智一				
副支部長	岩田 吉弘	山下 幸和			
参 与	秋葉 健一	阿部 重喜	石井 一		
宇野原信行	大関 邦夫	大類 洋	荻野 博		
長 哲郎	小田嶋次勝	後藤 順一	佐藤 允美		
齋藤 紘一	鈴木 信男	玉木 洋一	南原 利夫		
広川吉之助	山崎 慎一	四ツ柳 隆夫			
監 事	大江 知行	佐藤 健二			
庶務幹事	柏倉 俊介				
会計幹事	後藤 貴章				
幹 事	赤坂 和昭	芦野 哲也	安齊 順一		
壹岐 伸彦	石川大太郎	伊藤 徹二	井上 亮		
遠藤 昌敏	大野 賢一	尾形 健明	小川 信明		
押手 茂克	上條 利夫	彼谷 邦光	菊地 洋一		
北川 文彦	北爪 英一	熊澤 徹	佐藤 勝彦		
佐藤 雄介	猿渡 英之	珠玖 仁	志村 清仁		
鈴木 敏重	高貝 慶隆	高橋 成周	鶴岡 博章		
寺前 紀夫	照井 教文	中川 公一	中村 重人		
中山 健一	西澤 精一	西澤 松彦	糠塚いそし		
野原 幸男	橋本 幹雄	平野 愛弓	平山 和雄		
福島美智子	福村 裕史	藤原 一彦	星 友典		
星野 仁	細野 長悦	升谷 敦子	松永 英之		
眞野 成康	水口 仁志	村本 光二	盛田 伸一		
八木 芳夫	山田 正俊	和久井喜人	渡辺 健一		
渡辺 忠一					

2. 研究発表会

- 1) 平成26年度化学系学協会東北大会 (日本化学会東北支部が主催し, 日本分析化学会東北支部は共催): 9月20~21日, 山形大学米沢キャンパスにて開催された。426件の講演があり, 669名の参加があった。

3. セミナー (主催)

- 1) 分離機能とセンシング機能の化学セミナー2014: 3月8日, 東北大学金属材料研究所にて開催した。招待講演3件が行われ, 38名の参加があった。
- 2) Ivan J. Dmochowski 教授講演会: 5月22日, 東北大学大学院工学研究科化学・バイオ工学科にて開催した。27名の参加があった。
- 3) 平成26年度東北支部若手交流会: 7月11~12日, 山形・鶴岡メタボロームクラスターにて開催した。招待講演8件, ポスター講演46件を行い, 112名の参加があった。
- 4) みちのく分析科学シンポジウム2014: 8月25~26日, 東北大学金属材料研究所にて開催した。招待講演6件, 若手講演2件, ポスター講演22件が行われ, のべ72名の参加があった。
- 5) バイオアナリシス2014: 11月8日, 東北大学大学院薬学研究科にて開催した。招待講演3件が行われ, 39名の参加があった。
- 6) 分析化学と化学分析の青森フォーラム2014: 11月7日, 弘前大学大学院理工学研究科にて開催された。招待講演3件, 特別講演1件が行われ, 40名の参加があった。

4. セミナー等共催事業

- 1) 第31回無機・分析化学コロキウム (主催は日本化学会東北支部): 5月30~31日, 東北大学川渡共同セミナーセンターにて開催された。5件の招待講演, 6件の依頼講演が開催され, のべ125名の参加があった。
- 2) 日本コンピュータ化学会2014秋季大会 (主催は日本コンピュータ化学会): 8月1日, 日本大学工学部にて開催された。
- 3) 第50回X線分析討論会 (主催は日本分析化学会X線分析研究懇談会): 10月30~31日, 東北大学片平さくらホールにて開催された。

【関東支部】

1. 役員を選任

支部長	丹羽 修				
副支部長	宮村 一夫 (次期支部長)	川田 哲			
参 与	望月 直樹				
赤岩 英夫	梅澤 喜夫	小熊 幸一			
大橋弘三郎	岡田 哲男	楠 文代	合志 陽一		
酒井 馨	澤田 清	渋川 雅美	菅原 正雄		
杉谷 嘉則	高田 芳矩	高村喜代子	田中 龍彦		
角田 欣一	中澤 裕之	中村 洋	二瓶 好正		
平井 昭司	不破敬一郎	藤原 鎮男	藤原祺多夫		
保母 敏行	前田 瑞夫	矢野 良子	山崎 素直		
山根 兵	綿拔 邦彦				
梅香 明子	西垣 敦子				
青木 寛	井上 達也	上原 伸夫			
梅村 知也	国村 伸祐	齊藤 和憲	櫻井 裕樹		
敷野 修	鈴木 康志	鈴木 康弘	下村 博志		
谷 和江	谷合 哲行	塚原 剛彦	津越 敬寿		
中込 和哉	中西 淳	並木 健二	東 達也		
本田 俊哉	松崎 彩子	林 英男	安田 純子		
山口 央	吉本敬太郎				
岩崎 雄介	上野 祐子	片山 建二			
勝田 正一	北辻 章浩	熊谷 浩樹	坂元 秀之		
辻 典宏	野村 文子	保倉 明子			

2. 研究発表会

第28回新潟地区部会研究発表会: 9月26日 (金), 新潟日報メディアシップ内「4大学メディアキャンパス」において開催, 特別講演2件, 一般講演6件, 情報交換会を行った。

3. 講習会

- 1) 第55回機器分析講習会: 第1コース, 6月19~20日, 第2コース, 7月23~25日, 第3コース, 11月4~5日, 日立ハイテクサイエンス, 慶應義塾大学, 島津製作所で開催した。
- 2) 第24・25回分析化学基礎実習講座: 8月27~29日, 東京理科大学, 2月19~20日, パーキンエルマージャパンで各々開催した。

4. 講演会

- 1) 第11回茨城地区分析技術交流会: 12月5日 (金), いばらぎ量子ビーム研究センターにおいて開催, 特別

講演3件、ポスターセッション及び情報交換会を行った。

5. セミナー

1) 26年度日本分析化学会関東支部若手交流会は、東北支部若手の会と共同主催で東の本分析若手交流会を：7月11日(金)～12日(土)、「湯の浜温泉ホテル海麓園」において開催

2) 新世紀賞・(新人賞)講演会・新年交流会：1月7日、秋葉原ダイビル18階(株)日立製作所において開催。

6. 各県分析化学交流会

1) 第10回千葉県分析化学交流会：7月18日、(株)島津アークセス東京支店において開催

7. 支部ニュースの発行

関東支部ニュース第25号を発行した。

【中部支部】

1. 役員を選任

支部長 井村 久則
次期支部長 手嶋 紀雄
副支部長 小谷 明 馬場 嘉信
顧問 石井 大道 板谷 芳京 上田 一正
上田 穰一 河口 廣司 木羽 敏泰 佐々木与志実
鈴木 正巳 柘植 新 寺田喜久雄 野村 俊明
野村 昇 舟橋 重信 本浄 高治 三輪 智夫
村田 旭 山寺 秀雄
参 与 太田 清久 北川 邦行 酒井 忠雄
田口 茂 永長 幸雄 中村 俊夫 原 稔
平出 正孝 山田 真吉 湯地 昭夫 吉村忠与志
監 事 大谷 肇 樋上 照男
庶務幹事 永谷 広久
会計幹事 加藤 亮
常任幹事 江坂 幸宏 太田 一徳 甲斐 穂高
加賀谷重浩 加地 範匡 金 継業 栗原 誠
高田 主岳 田中 智一 牧 輝弥 松宮 弘明
村上 博哉
幹 事 飯國 良規 内村 智博 大橋 芳明
岡 正人 香川 信之 勝又 英之 金子 聡
金子美智代 儀賀 義勝 北出 和久 健名 智子
小森 康生 齊藤 彰良 篠原 直行 妹尾 健吾
平 修 高木 秀夫 巽 広輔 田中 勉
柘植 明 轟木堅一郎 鳥羽 陽 丹羽 啓誌
長谷川 浩 服部 寛和 坂東 篤 肥田 宗政
藤永 薫 藤原 正之 間中 淳 安井 隆雄
山形 茂 山腰 亮子 山本 敦 四津 佳伸

2. 研究発表会

1) 第45回中部化学関係学協会支部連合秋季大会：11月29～30日、中部大学春日井キャンパス、特別討論会講演6件(招待講演4件、一般講演2件)、一般講演23件を行った(参加者62名)。

3. 講演会

1) 北陸地区講演会：7月11日、金沢大学角間キャンパスで開催、講演3件を行った(参加者88名)。
2) 岐阜地区講演会：11月7日、岐阜薬科大学で開催、講演2件を行った(参加者50名)。
3) 愛知地区講演会：7月30日、名古屋工業大学で講習会と併せて開催、講演3件を行った(参加者39名)。

4. 講習会

1) 第24回基礎及び最新の分析化学講習会：7月29～30日、名古屋工業大学で開催、講義7件を行った(参加者63名)。

5. セミナー

1) 第33回分析化学中部夏期セミナー：9月4日～5日、いこいの村 磯波風(いそっぷ)で開催、招待講演2件、若手依頼講演1件、ポスドク・ブレイク依頼講演4件、新製品紹介講演2件、ポスター講演46件を行った(参加者101名)。
2) 「分析中部・ゆめ21」若手交流会・第14回高山フォーラム：11月14～15日、高山市図書館、お宿山久で開催、討論、ポスター発表59件を行った(参加者80名)。

【近畿支部】

1. 役員を選任

支部長 大塚 利行
次期支部長 前田 耕治
副支部長 杉山 雅人 辻 幸一

庶務幹事 諏訪 雅頼 西 直哉
会計幹事 永井 秀典 森内 隆代
参 与 池田 重良 池田 篤治 池田 昌彦
市村 彰男 宇野 豊三 大井 尚文 岡 正太郎
小川禎一郎 垣内 隆 木原 壯林 木村 恵一
木村 優 日下 讓 小島 次雄 佐伯 正夫
佐藤 昌憲 庄野 利之 千田 貢 田中 信男
田中 久 田中 稔 谷口 一雄 千熊 正彦
辻 治雄 寺部 茂 中川 照眞 中原 武利
原 正 藤永太一郎 藤原 英明 穂積啓一郎
堀 智孝 増田 嘉孝 松井 正和 松下 隆之
八尾 俊男 渡辺 巖 渡會 仁
常任幹事 上原 章寛 岡本 昌彦 小堤 和彦
北隅 優希 久保埜公二 末吉 健志 杉原 崇康
瀧川 宏司 中原 佳夫 野村 聡 長谷川 健
堀田 弘樹 村松 康司 安川 智之 山本 雅博
弓削 是貴

幹 事 浅川 大地 小豆畑利夫 荒川 隆一
石井 裕子 石田 正登 石濱 泰 糸 博之
岩本 仁志 上田 啓太 宇田 亮子 梅谷 重夫
遠藤 達郎 大石 晴樹 大内 幹雄 大塚 浩二
岡林 義人 岡本 行広 尾崎 幸洋 尾関 徹
小山 宗孝 掛樋 一晃 糟野 潤 門 晋平
加納 健司 柄谷 肇 河合 潤 川崎 英也
河田 聡 河野 宏彰 川元 達彦 岸本 芳久
菊地 和也 北出 達也 木村 敦臣 紀本 岳志
久保 拓也 熊谷 哲 倉内 奈美 小池 亮
小畑 俊嗣 小林 典裕 齊藤 惠逸 坂本 英文
作花 哲夫 佐々木隆之 佐藤 卓史 椎木 弘
澁谷 康彦 下山 昌彦 白井 理 杉山 裕子
須志田一義 鈴江 崇彦 鈴木 茂生 鈴木 哲仁
宗林 由樹 高木 達也 高橋 弘樹 竹田さほり
民谷 栄一 茶山 健二 塚越 一彦 塚原 聡
都築 英明 角井 伸次 壺井 基裕 坪井 泰之
津村ゆかり 土井 光暢 波床 志保 中井 亨
長岡 勉 中口 中澤 隆 中島 陽一
中田 邦彦 中田 中西 和樹 中林 安雄
中山 茂吉 西野 智昭 野崎 敏則 萩中 淳
橋本 紅良 濱地 格 張野 宏也 東 昇
久本 秀明 福士 惠一 藤居 義和 藤田 芳一
藤嶽 暢英 藤森 啓一 藤原 学 細矢 憲
前田 初男 松尾 修司 松本 明弘 丸尾 雅啓
三木功次郎 水谷 文雄 三田村邦子 三戸彩絵子
三野 芳紀 宮道 隆 向井 浩 村上 正裕
森澤 勇介 森田 成昭 矢坂 裕太 矢嶋 摂子
山垣 亮 山口 敬子 山崎 秀夫 山田 悦
山田 隆 山田 裕之 山本 茂樹 横井 邦彦
吉田 裕美 和田 豊仁

2. 講演会

1) 第1回支部講演会：4月18日、大阪科学技術センターで開催、講演3件を行った。
2) 第34回石橋雅義先生記念講演会(共催)：4月26日、京都大学百周年時計台記念館で開催、講演2件を行った。
3) 第2回支部講演会：12月11日、大阪科学技術センターで開催、講演2件を行った。

3. 講習会

1) ぶんせき講習会・基礎編その1：5月16日、大阪市立大学文化交流センターで開催、講演5件を行った(受講者80名)。
2) ぶんせき講習会・基礎編その2：6月27日、(株)島津製作所で開催、講演3件を行った(受講者24名)。
3) ぶんせき講習会・実践編(第61回機器による分析化学講習会)：7月25日、(株)堀場製作所で開催、講義3件と実習、施設見学を行った(受講者26名)。
4) ぶんせき講習会・発展編：12月18日、京都大学化学研究所で開催、講師3名による講義7件を行った(受講者38名)。

4. セミナー

1) 第8回平成夏期セミナー(ぶんせき秘帖)：8月9、10日(台風のため、9日のみに変更)、神戸セミナーハウスで開催、講演5件、ポスターセッションを行った(参加者82名)。

5. 支部ニュースを3回発行した。

【中国四国支部】

1. 役員を選任

支部長	伊藤 一明				
次期支部長	田中 秀治				
副支部長	金田 隆	若林 茂夫			
事務局長	藤原 照文				
支部参与	池田 早苗	今井 嘉彦	岩知道 正		
	大島 光子	奥村 稔	小倉興太郎	木ト 光夫	
	木曾 義之	熊丸 尚宏	下村 滋	善木 道雄	
	田頭 昭二	竹味 弘勝	出口 正一	中野 惠文	
	林 康久	平田 静子	廣川 健	升島 努	
	真鍋 敬	宮田 晴夫	本仲 純子	本水 昌二	
	森田 秀芳	山崎 恒博			
支部監事	岡 秀行	北條 正司			
庶務幹事	石坂 昌司	岡本 泰明	武安 伸幸		
西脇 芳典					
会計幹事	竹田 一彦	西本 潤			
常任幹事	朝日 剛	石井 孝浩	石徳 武		
	泉 雅典	今井 昭二	受田 浩之	内嶋 茂	
	春日 弘夫	紙谷 浩之	北出 哲朗	児玉 竜二	
	島田 健	清家 泰	高柳 俊夫	田中 俊行	
	中山 雅晴	名郷 洋信	西 博行	早川慎二郎	
	引野 健治	藤原 薫	村上 良子	山岡 和則	
	横山 崇	吉屋 晴夫	和田 修治		
支部幹事	浅野 比	新名 龍彦	一色 健司		
	榎本 秀一	尾上 晃一	片岡 洋行	勝 孝	
	川口 浩	川村 邦男	島崎 洋次	高橋 嘉夫	
	竹内 政樹	谷村 俊史	鶴田 泰人	中田 健一	
	永阪 文惣	難波 亨	樋口 浩一	藤原 勇	
	淵脇 雄介	宝来佐和子	前川 達治	森本 稔	
	門木 秀幸	藪谷 智規	山崎 重雄	山下 浩	
	山本 孝	横田 宣夫	吉岡 徹	吉田 賢司	
	吉本 誠				

2. 研究発表会

1) 2014年日本化学会中国四国支部大会(共催):11月8・9日,山口大学吉田キャンパス(山口市)にて開催。(参加者340名,懇親会40名)。

3. 講演会

- 中国四国支部分析化学講演会:3月14日,岡山大学理学部本館第11講義室(岡山市)で開催。講演3件および情報交換会を行った。
- 岡山地区講演会(岡山地区分析技術懇談会と共催):3月6日,岡山大学理学部で開催。講演1件,学生による研究発表および情報交換会を行った(参加者43名)。
- 広島地区講演会(広島地区分析技術研究会と共催):3月4日,広島大学学生会館(東広島市)で開催。講演2件と研究発表2件を行った(参加者25名)。
- 山口地区講演会(山口機器分析研究会と共催):12月5日,山口大学湯田キャンパスで開催。講演2件および懇親会を行った。
- 周南地区講演会(周南コンビナート分析研究会と共催):12月5日,東ソークラブ401会議室(周南市)で開催。講演3件および懇親会を行った(参加者50名)。
- 愛媛地区講演会(愛媛地区分析技術懇談会と共催):12月10日,新居浜市市民文化センター(新居浜市)で開催。講演1件と住友化学愛媛工場(新居浜市)の工場見学を行った。
- 徳島地区講演会(徳島化学工学懇話会と共催):11月25日,徳島大学薬学部(徳島市)にて講演1件を行った。2月2日,徳島大学薬学部(徳島市)にて講演2件および懇親会を行った。
- 鳥取地区講演会(鳥取総合分析研究懇談会と共催):1月10日,鳥取大学医学部アレスコ棟(米子市)にて講演3件を行った。
- 高知地区講演会(高知地区分析技術懇談会と共催):12月6日,高知大学理学部(高知市)で開催。講演2件および情報交換会を行った。

4. 講習会

第51回分析化学講習会:8月5・6日,岡山大学理学部(岡山大学津島キャンパス内)で開催。「環境・バイオの分析化学と最新光科学計測」の主題で,特別講演2件,セミナー3件,ランチョンセミナー2件,実習10種類,な

らびに情報交換会を行った(受講者29名)。

5. セミナー

第20回中国四国支部分析化学若手セミナー:7月26・27日,高知大学農学部付属暖地フィールドサイエンス教育研究センター(南国市)において開催。依頼講演3件,ポスターショートプレゼンテーション,ポスター発表,および懇親会を行った(参加者45名)。

【九州支部】

1. 役員を選任

支部長	松井 利郎				
次期支部長	肥後 盛秀				
副支部長	井上 高教	佐藤 正雄			
参与	飯盛喜代春	石黒 慎一	岩崎 正武		
	大倉 洋甫	大森 保	鎌田 薩男	合屋周次郎	
	小林 宏	財津 潔	高館 明	竹田津富次	
	田端 正明	出口 俊雄	増田 義人		
監査	原田 明	田嶋 晴彦			
庶務幹事	井倉 則之				
会計幹事	田中 充				
常任幹事	新垣 雄光	大浦 博樹	大島 達也		
	甲斐 雅亮	川上 健次	河津 博文	大黒 広明	
	塩路 幸生	高椋 利幸	竹原 公	西田 正志	
	原田 雅章	森 健			
幹事	安藤 功	池上 天	伊藤 潔		
	石川 洋哉	石田 雄士	井原 敏博	今坂藤太郎	
	今任 稔彦	岩永 達人	内海 英雄	宇都宮 聡	
	大木 章	王子田彰夫	落合 宏寿	大渡 啓介	
	大庭 義史	大平 慎一	岡上 吉広	片山 佳樹	
	加藤 祐子	梶島 力	梶島 正美	神崎 亮	
	岸川 直哉	喜納 兼勇	木下 将和	蔵脇 淳一	
	栗崎 敏	黒田 直敬	呉 行正	古賀 実	
	児玉谷 仁	財津 慎一	笹木 圭子	佐藤 博	
	澤津橋徹哉	柴田 孝之	下田 満哉	城 昭典	
	清 悦雄	宗 伸明	高橋 浩司	田口 博幸	
	竹中 繁織	谷口 功	戸田 敬	富安 卓敏	
	長崎 典之	長澤 満明	中島憲一郎	中嶋 直敏	
	中島 俊男	中島 常憲	中園 学	中武 貞文	
	中野 幸二	中山 守雄	新留 康郎	能田 均	
	野口 英行	野間 誠司	馬場 由成	浜瀬 健司	
	原口 浩一	前田 明広	増田 寿伸	又吉 直子	
	松岡 信明	松田 賢士	松田 直樹	松野 康二	
	松本 清	満尾 良弘	満塩 勝	村田 正治	
	安田みどり	柳 雅之	数下 彰啓	山口 敏男	
	山口 英敬	山口 政俊	山田 淳	横下 正彦	
	横山 拓史	吉塚 和治	吉田 亨次	吉田 秀幸	
	吉田 祐一	吉留 俊史	吉村 和久	脇田 久伸	
	和田 光弘				

2. 研究発表会

- 第51回化学関連支部合同九州大会(共催):6月28日,北九州国際会議場で開催。優秀ポスター発表6件を「九州分析化学ポスター賞」として表彰。
- The 19th International Conference on Flow Injection Analysis Including Related Techniques (ICFIA 2014)(第19回フローインジェクション分析に関する国際会議)(共催):12月1日~5日,アクロス福岡で開催。

3. 講演会

- 第27回九州分析化学若手の会・春の講演会(主催):5月17日,九州大学箱崎キャンパスで開催。
- 機器分析ワークショップ(主催):6月17日(福岡会場),並びに6月18日及び11月12日(鹿児島会場),九州大学箱崎キャンパス,並びにかごしま環境未来館で開催。
- 九州支部講演会・見学会(主催):11月14日,九州大学箱崎キャンパス国際ホール並びに福岡市環境局保健環境研究所で開催。
- 第37回溶液化学シンポジウム(共催)11月11日~14日,アバンセ(佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター)で開催。

4. 講習会

1) 第55回分析化学講習会(主催):8月6~8日,九州大学伊都キャンパスで開催。

5. セミナー

1) 第32回九州分析化学若手の会・夏季セミナー(主

催)：7月25日～26日、かんぼの宿北九州で開催。優秀ポスター発表8件を「九州分析化学若手賞」として表彰。

6. 支部ニュース

支部ニュース第30号(8月)及び第31号(3月)を発行。

平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成27年度事業計画書

(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

①常総会の開催(定款第17条)

第3回定時総会を下記のとおり行う。

日時 平成27年4月21日(金)13時より

場所 五反田文化会館(東京都品川区西五反田1-32-2)

参加予定者数150人。

②会誌、研究報告及び資料の刊行(定款第5条(1))

・学会誌「ぶんせき」を下記のとおり発行する。

2015年第3号～2016年第2号 毎月1回、5日に発行(各号A4判、100ページ)。発行部数6500

・和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行する。

第64巻第3号～第65巻第2号を毎月1回、5日に発行(各号A4判、70ページ)。発行部数2100

・英文論文誌「Analytical Sciences」を下記のとおり発行する。

Vol. 31, No. 3～Vol. 32, No. 2を毎月1回、10日に発行(各号A4判、140ページ)。発行部数640

・英文論文誌「X-ray Structure Analysis Online」を下記のとおり発行する。

Vol. 31, No. 3～Vol. 32, No. 2を毎月1回発行(webのみによる無料公開)。

・メールマガジンを発行する。

・「試料分析講座」(丸善)、「分析士試験問題の解説(本会)等の書籍を出版する。

③講演会、講習会及び研究会の開催(定款第5条(2))

各支部並びに懇談会が主催するものは別に記載する。

[研究発表会]

・第75回分析化学討論会を行う。

日時 平成27年5月23日(土)・24日(日)

場所 山梨大学甲府キャンパス(甲府市武田4-4-37)

参加予定者数800、演題数500

・第64年会を下記のとおり行う。

日時 平成27年9月9日(水)～11日(金)

場所 九州大学伊都キャンパス(福岡市西区)

参加予定者数1300人 演題数800

・2nd Asian Symposium on Analytical Sciencesを行う。

・産業界における分析化学ソリューションに関するシンポジウムを行う。

[講習会] 参加予定者数：合計500名

予定テーマ

水中の微量金属成分分析技術セミナー

金属分析技術セミナー

ダイオキシン類分析技術セミナー

セラミックス原料・鉱石類分析技術セミナー

土壌分析技術セミナー

プラスチック中有害金属成分の化学分析技術セミナー

分析化学基礎セミナー

分析化学における不確かさ研修プログラムセミナー

食品中の栄養成分の分析

放射能分析

④調査、研究及び建議(定款第5条(3))

[JIS]

日本規格協会の公募に応募して制定改正を行う。

[技能試験] 参加予定試験所数：合計280社

ISO/IEC17043に基づく分析試験所技能試験を行う。

予定テーマ

ダイオキシン類成分分析

プラスチック中有害金属成分の分析

トレーサビリティと不確かさの理解度を確保する分析
その他

[標準物質]

これまで開発してきた各種標準物質の社会への供給活動を継続して実施する。また、在庫切れ品の補給と放射能関係の新規標準物質の開発を行い社会への供給活動を行う。

[関連団体との協力]

・関連学協会並びに団体の講演会、講習会及び研究会の開催を共催又は協賛する。

・学会協議協力団体としての活動を行う。

・グリーンサステナブルケミストリーネットワークの活動に協力する。

・化学連合参加団体としての活動を行う。

・関連団体からの要請に基づき委員を派遣してJIS/ISOなどの各種規格の立案等に協力する。

[教育用DVD]

・現在頒布中の教育用ビデオを発展させたDVD教材の開発のために作業を行う。

⑤研究の奨励及び研究業績の表彰(定款第5条(4))

・学会賞、学会功労賞、技術功績賞、奨励賞、有功賞、「分析化学」論文賞並びに先端分析技術賞を下記のとおり表彰する。

学会賞(3名以内)

学会功労賞(5名以内)

技術功績賞(3名以内)

奨励賞(5名以内)

有功賞(50名程度)

「分析化学」論文賞(1名)

先端分析技術賞(3名以内)

・他機関による表彰および研究助成に対して会員を候補者として推薦する。

⑥その他目的を達成するために必要な事業(定款第5条(5))

・分析士認証試験を次のとおり行う。

液体クロマトグラフィー分析士認証試験 初段～五段の各段位

LC/MS分析士認証試験 初段～五段の各段位

イオンクロマトグラフィー分析士 初段及び三段

・分析士会を開催して講演会等の活動を行う。

・アジアの分析化学者との連携をはかるためにAsian Analytical Chemistry Networkのホームページを運用する。

・本会の活動並びに斯学術・技術の重要性をホームページ、各種展示、冊子の発行、記者会見、展示などを通じて広報する。

・若手交流会の活動を次のとおり行う。

各支部の若手交流会企画に対して共催・支援を行う。

また、分析化学討論会においてポストシンポジウムの企画および若手ポスター賞選考を行う。

・各研究懇談会の活動を次のとおり行う。

1) 有機微量分析研究懇談会

委員会を2回、第82回有機微量分析研究懇談会(計測自動制御学会・力量計測部会と共催、日本分析化学会、日本化学会、日本薬学会協賛)を5月に愛媛県松山市(愛媛大学 南加記念ホール及び校友会館)、講演会(第64年年会会期中)、第7・8回マイクロ電子天びん技術研修会、および第4回マイクロ電子天びんセミナー(座学)を開催するほか、会報第17号(2016年2月)を発行する。

2) ガスクロマトグラフィー研究懇談会

例会を数回、特別講演会、講習会(実習付含む)を開催する。例会の中で基礎講座を開催する(受講証を発行)。地方での研究懇談会活動を行う。分析化学討論会・年会で特別講演会を開催する。日中韓シンポジウムの開催(韓国)にLC、IC、FIA、環境分析各研究懇談会と協力する。JAIMAコンファレンスで講習会・講演会を実施する。ガスクロマトグラフィー誕生60周年事業としてアーカイブを作成する。講習会用テキストを整備する。研究懇談会活動の過去ログ、講演会資料をホームページで公開する。運営委員会を隔月で開催する。

3) 高分子分析研究懇談会

例会を6回、高分子分析技術講習会を2回、第20回高分子分析討論会の開催。

- 4) X線分析研究懇談会
例会を数回、第51回X線分析討論会、X線分析講習会を開催するほか、「X線分析の進歩」を出版する。
- 5) 分析試薬研究懇談会
第64年会での講演会と幹事会および、第12回ホスト・ゲスト化学シンポジウム(共催:東北大学, 6月)での招待講演を開催する。
- 6) 溶液界面研究懇談会
講演会、懇談会を各1回(第64年会会期中)開催するほか、メールによる情報交換を行う。また、年会において界面に関するセッションを継続して開催できるよう、年会実行委員会への働きかけを行う。2016年度の「分析化学」誌の研究懇談会特集「新規な分離・検出の場としての溶液界面」の準備を進める。
- 7) 液体クロマトグラフィー研究懇談会
運営委員会を11回、例会を12回(うち1回は年会時に開催)、液体クロマトグラフィー特別講演会・見学会を2回、第21回LCテクノプラザ、LC-DAYS 2015を開催する。関東支部機器分析講習会第2コース「HPLCとLC/MSの基礎と実践」、JAIMAセミナーにおけるHPLC講習会などを支援する。「第2回LC分析士3段試験解説書」、「第3回LC分析士2段試験解説書」の各出版に向け、それぞれ2日間の査読会を実施する。
- 8) 化学センサー研究懇談会
懇談会講演会(9月、分析化学会年会会期中)を開催するほか、12月に他の学協会と共同で化学センサー・バイオセンサー関連シンポジウムをPacifichem会議(ホノルル)にて開催する。また、センサーに関する案内や資料を随時配付する。
- 9) 電気泳動分析研究懇談会
講演会を1回(分析化学会年会会期中)開催するほか第35回キャピラリー電気泳動シンポジウム(SCE 2015)(11月、岡山)を開催する。電気泳動分析研究懇談会賞(寺部茂賞)の選考を行う。またシンポジウムの要旨集アーカイブのホームページ上での公開を進める。
- 10) イオンクロマトグラフィー研究懇談会
Separation Sciences(SS)講演会(5月、第75回討論会、山梨大学)、The 8th Asia-Pacific Symposium on Ion Analysis(8月31日-9月3日、幕張メッセ)、IC講習会、SS講演会(9月、JAIMA)、IC講演会(9月、第64年会、九州大学)、日中韓分析化学シンポジウム(GC、HPLC、FIA、環境分析研と協力、10月、釜山)を開催/協力を。運営委員会を3回開催予定。IC分析士認定試験の問題作成(初段、三段)と実施に取り組む。
- 11) フローインジェクション分析研究懇談会
褒章委員会を第64年会(9月、九州大学)会期中に開催する。第75回分析化学討論会(5月、山梨大学)および第52回FIA講演会(11月、群馬大学(予定)会期中に「Journal of Flow Injection Analysis」(JFIA)誌編集委員会を開催するほか、第52回FIA講演会中にFIA委員会を開催する。JFIA誌を2回(6月、12月)発行する。
- 12) 環境分析研究懇談会
講演会を3回(6月、第64年会会期中、11月)、幹事会(第64年会会期中)を1回開催する。日中韓分析化学シンポジウムを、日本側組織としてGC、HPLC、FIA、IC各研究懇談会と共催する(韓国、10月)。また適宜メーリングリストを用いた情報交換を行う。
- 13) 表示・起源分析技術研究懇談会
講演会を3回(6月30日(東工大岡山キャンパス)、第64年会会期中及び年度後半)、運営委員会を2回開催する。
- 14) レア金属分析研究懇談会
講演会を2回(6月及び第64年会中)、運営委員会を1回(第64年会中)開催する。また、必要に応じ他の研究懇談会との共催で講演会を開催する。なお、メーリングリストを作成し、適宜情報交換を行う。
- 15) 熱分析研究懇談会
講演会を2回(9月、第64年会会期中及び12月)開催予定。またメーリングリストを活用し、情報交換を行う。
- 16) 溶液反応化学研究懇談会
講演会を1回と懇談会を1回(いずれも日本分析化学会第64年会会期中)開催する。メーリングリストを作成し、適宜情報交換を行う。
- 17) 受託分析研究懇談会
総会とセミナー(11月)および見学会(6月)を各1回行う他、運営委員会を3回開催する。他の研究懇談会等とも交流を深めるとともに、会員間の情報交換を活発に行い、会員拡充を図る。
•支部において定款第5条の事業を次のとおり行う。
- 【北海道支部】**
1. 夏季研究発表会(7月)、冬季研究発表会(1月下旬または2月上旬)を開催する。
 2. 化学教育研究協議会(11月上旬)を開催する。
 3. 第31回分析化学緑陰セミナー(6月)、公開セミナー(9月)、第51回氷雪セミナー(1月上旬)を開催する。
 4. 支部ニュース(7月、12月)を発行する
- 【東北支部】**
1. 研究発表会:みちのく分析科学国際シンポジウム2015、平成27年度化学系学協会東北大会
 2. 講演会:分析化学と化学分析の青森フォーラム2015(青森地区講演会)、各地区講演会
 3. セミナー:分離機能とセンシング機能の化学セミナー2015、第16回機能構造と分析化学シンポジウム、第32回無機・分析化学コロキウム、平成27年度日本分析化学会東北支部若手交流会、パイオアナリシス2015
- 【関東支部】**
1. 講習会:第56回機器分析講習会、分析化学基礎実習講座を開催する。
 2. 講演会:新潟地区部会研究発表会、茨城地区分析技術交流会、新世紀賞講演会、新年交流会のほか、随時開催する。
 3. セミナー:分析化学若手交流会のほか、随時開催する。
 4. 支部ニュースの発行ほか常任幹事会で必要と認められた事項を行う。
 5. 60周年記念行事を秋季に開催する。
- 【中部支部】**
1. 研究発表会:第46回中部化学関係学協会支部連合秋季大会(11月、三重大学)を共催の予定。
 2. 講演会:愛知・静岡・福井での地区講演会、及び訪日研究者講演会の開催を予定。
 3. 講習会:第25回基礎及び最新の分析化学講習会(8月、愛知工業大学本山キャンパス)を開催の予定。
 4. セミナー:第34回分析化学中部夏期セミナー(8月31日・9月1日、静岡市)、「分析中部・ゆめ21」若手交流会・第15回高山フォーラム(11月、高山市図書館)を開催の予定。
- 【近畿支部】**
1. 講演会:支部講演会(4月、12月)、近畿分析技術研究奨励賞受賞講演会(3月)を開催の予定。
 2. 講習会:ぶんせき講習会・基礎編(5月、6月)、同・実践編(第62回機器による分析化学講習会)(7月)、同・発展編(11月)を開催の予定。
 3. セミナー:提案公募型事業(随時)、第8回平成夏期セミナー「ぶんせき秘帖」(8月)を開催の予定。
 4. 支部ニュースの発行(随時)
- 【中国四国支部】**
1. 講演会:岡山・広島・周南・山口・愛媛・徳島・鳥取・島根・高知地区講演会、外国人学者講演会を随時開催の予定。
 2. 講習会:第52回分析化学講習会(8月頃、広島)を開催の予定。
 3. セミナー:第21回中国四国支部分析化学若手セミナー(7月または8月、岡山)を開催の予定。
- 【九州支部】**
1. 研究発表会:第52回化学関連支部合同九州大会(6月)を開催の予定。
 2. 講演会:第28回春の研究講演会(5月)、第33回夏期セミナー(7月)、支部講演会・見学会(11月)のほか、機器分析ワークショップや外国人講演会を随時開催の予定。
 3. 講習会:第56回分析化学講習会(8月)を開催の予定。
 4. 日本分析化学会第64年会(9月)を実行委員会として行う。
 5. その他:地区懇話会、支部ニュースの発行などを行う予定。

以上

平成 26 年 度 会 計 報 告

貸 借 対 照 表

(平成 27 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金預金	96,065,436	99,819,169	△3,753,733
売掛金	4,872,312	7,324,420	△2,452,108
未収金	5,995,044	7,484,848	△1,489,804
未収収益	133,957	133,957	0
棚卸資産	26,371,006	27,887,196	△1,516,190
貯蔵品	72,672	98,930	△26,258
一年以内回収予定長期貸付金	199,920	199,920	0
前払金	6,085,560	2,369,457	3,716,103
仮払金	78,775	251,977	△173,202
流動資産合計	139,874,682	145,569,874	△5,695,192
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
基本財産預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特 定 資 産			
退職給付引当資産	66,273,151	76,303,005	△10,029,854
標準物質開発基金	64,743,000	64,721,814	21,186
分析技術教育基金	12,971,675	12,967,288	4,387
国際交流事業基金	20,639,075	22,038,000	△1,398,925
分析化学研究奨励基金	8,372,563	8,370,364	2,199
預り保証金引当預金	11,000,000	11,000,000	0
支部研究懇談会特定預金	27,537,937	28,898,695	△1,360,758
特定資産合計	211,537,401	224,299,166	△12,761,765
(3) そ の 他 固 定 資 産			
建物	14,788,589	15,501,141	△712,552
器具備品	130,138	218,312	△88,174
土地	49,172,915	49,172,915	0
商標	173,286	248,126	△74,840
ソフトウェア	711,047	1,356,036	△644,989
電話加入権	28,000	28,000	0
敷金	100,000	100,000	0
長期貸付金	2,527,560	2,727,480	△199,920
その他固定資産合計	67,631,535	69,352,010	△1,720,475
固定資産合計	289,168,936	303,651,176	△14,482,240
資産合計	429,043,618	449,221,050	△20,177,432
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未払金	12,209,029	6,040,075	6,168,954
前受金	49,822,050	37,004,250	12,817,800
前受購読料	3,707,866	4,543,667	△835,801
前受り金	995,000	1,040,000	△45,000
預り金	6,742,859	1,363,938	5,378,921
仮受り金	52,631	782,425	△729,794
賞与引当金	2,289,000	3,810,000	△1,521,000
未払消費税等(注)	2,205,900	561,335	1,644,565
流動負債合計	78,024,335	55,145,690	22,878,645
2. 固 定 負 債			
退職給付引当金	93,380,838	93,380,838	0
預り保証金	11,000,000	11,000,000	0
固定負債合計	104,380,838	104,380,838	0
負債合計	182,405,173	159,526,528	22,878,645
III 正 味 財 産 の 部			
1. 指 定 正 味 財 産			
民間補助金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一 般 正 味 財 産	246,638,445	289,694,522	△43,056,077
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	246,638,445	289,694,522	△43,056,077
負債及び正味財産合計	429,043,618	449,221,050	△20,177,432

(注) 従来、未払い金に含んで計上していたが、本年度より未払消費税等を別掲した。

貸借対照表内訳表

(平成27年2月28日現在)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資 産 の 部				
1. 流 動 資 産				
現 金 預 金	73,755,688	22,309,748	0	96,065,436
売 掛 金	4,872,312	0	0	4,872,312
未 収 収 益	0	5,995,044	0	5,995,044
棚 卸 資 産	26,371,006	0	0	26,371,006
貯 蔵 品	0	72,672	0	72,672
一年以内回収予定長期貸付金	0	199,920	0	199,920
前 払 金	6,042,900	42,660	0	6,085,560
仮 払 金	0	78,775	0	78,775
流 動 資 産 合 計	111,041,906	28,832,776	0	139,874,682
2. 固 定 資 産				
(1) 基 本 財 産				
基 本 財 産 預 金	0	10,000,000	0	10,000,000
基 本 財 産 合 計	0	10,000,000	0	10,000,000
(2) 特 定 資 産				
退 職 給 付 引 当 資 産	0	66,273,151	0	66,273,151
標 準 物 質 開 発 基 金	0	64,743,000	0	64,743,000
分 析 技 術 教 育 基 金	0	12,971,675	0	12,971,675
国 際 交 流 事 業 基 金	0	20,639,075	0	20,639,075
分 析 化 学 研 究 奨 励 基 金	8,372,563	0	0	8,372,563
預 り 保 証 金 引 当 預 金	0	11,000,000	0	11,000,000
支 部 研 究 懇 談 会 特 定 預 金	27,537,937	0	0	27,537,937
特 定 資 産 合 計	35,910,500	175,626,901	0	211,537,401
(3) そ の 他 の 固 定 資 産				
建 築 物	13,901,274	887,315	0	14,788,589
器 具 備 品	119,331	10,807	0	130,138
土 地	46,222,540	2,950,375	0	49,172,915
商 標 権	173,286	0	0	173,286
ソ フ ト ウ ェ ア	711,047	0	0	711,047
電 話 加 入 権	26,320	1,680	0	28,000
敷 金	94,000	6,000	0	100,000
長 期 貸 付 金	0	2,527,560	0	2,527,560
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計	61,247,798	6,383,737	0	67,631,535
固 定 資 産 合 計	97,158,298	192,010,638	0	289,168,936
資 産 合 計	208,200,204	220,843,414	0	429,043,618
II 負 債 の 部				
1. 流 動 負 債				
未 払 金	23,735	12,185,294	0	12,209,029
前 受 会 費	24,000	49,798,050	0	49,822,050
前 受 購 読 料	3,707,866	0	0	3,707,866
前 受 金	995,000	0	0	995,000
預 り 金	4,285,240	2,457,619	0	6,742,859
仮 受 金	52,631	0	0	52,631
賞 与 引 当 金	1,602,300	686,700	0	2,289,000
未 払 消 費 税 等	2,205,900	0	0	2,205,900
流 動 負 債 合 計	12,896,672	65,127,663	0	78,024,335
2. 固 定 負 債				
退 職 給 付 引 当 金	0	93,380,838	0	93,380,838
預 り 保 証 金	11,000,000	0	0	11,000,000
固 定 負 債 合 計	11,000,000	93,380,838	0	104,380,838
負 債 合 計	23,896,672	158,508,501	0	182,405,173
III 正 味 財 産 の 部				
1. 指 定 正 味 財 産				
民 間 補 助 金	0	0	0	0
指 定 正 味 財 産 合 計	0	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	0
2. 一 般 正 味 財 産	184,303,532	62,334,913	0	246,638,445
(うち基本財産への充当額)	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	0
正 味 財 産 合 計	184,303,532	62,334,913	0	246,638,445
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	208,200,204	220,843,414	0	429,043,618

正味財産増減計算書

(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	6,568	6,580	△12
基本財産運用益	6,568	6,580	△12
特定資産運用益	305,524	326,617	△21,093
退職給付引当資産運用益	270,146	277,460	△7,314
標準物質開発基金運用益	21,186	22,770	△1,584
分析技術教育基金運用益	3,795	3,795	0
国際交流事業基金運用益	320	12,357	△12,037
分析化学研究奨励基金運用益	2,199	1,953	246
預り保証金引当預金運用益	2,318	3,300	△982
支部研究懇談会特定預金運用益	5,560	4,982	578
受取収入会費	207,000	271,000	△64,000
受取会費	78,914,490	97,321,748	△18,407,258
正会員会費	32,313,500	33,953,383	△1,639,883
学生会員会費	2,515,875	2,066,000	449,875
維持会員会費	12,561,125	22,266,775	△9,705,650
特別会員会費	12,791,800	20,624,800	△7,833,000
公益会費	11,783,400	11,173,500	609,900
支部研究受会費	6,668,790	6,834,290	△165,500
賛助会員受会費	280,000	403,000	△123,000
事業収益	142,070,600	158,906,552	△16,835,952
購読料収入	8,295,080	9,147,113	△852,033
年會収入	6,458,334	11,048,549	△4,590,215
討論會収入	12,115,995	21,229,700	△9,113,705
講演會収入	3,355,540	1,549,213	1,806,327
講習會収入	27,595,157	22,294,323	5,300,834
研究懇談會収入	922,529	3,211,680	△2,289,151
技能試験収入	9,358,992	8,723,839	635,153
分析士事業収入	4,992,221	4,379,264	612,957
S収入	426,854	447,850	△20,996
印税収入	1,532,215	2,629,197	△1,096,982
教育ビデオ・DVD頒布収入	2,589,000	2,192,500	396,500
標準物質頒布収入	23,387,890	26,706,745	△3,318,855
広告料収入	31,228,609	31,438,309	△209,700
別刷頒布収入	8,571,033	10,126,167	△1,555,134
複写権使用料収入	561,151	650,531	△89,380
技能試験受託収入	0	2,440,000	△2,440,000
JIS改正受託収入	680,000	691,572	△11,572
受取補助金等	3,292,000	12,409,286	△9,117,286
受取国庫補助金	0	6,700,000	△6,700,000
受取民間補助金	3,062,000	5,709,286	△2,647,286
受取自治体補助金	230,000	0	230,000
受取寄附金	844,872	451,500	393,372
受取寄附金	844,872	451,500	393,372
雑収	678,399	782,460	△104,061
受取利息	84,807	91,384	△6,577
雑収	593,592	691,076	△97,484
経常収益計	226,319,453	270,475,743	△44,156,290
(2) 経常費用			
事業費	211,099,047	243,463,935	△32,364,888
給料手当	37,957,061	49,491,363	△11,534,302
臨時雇賃金	8,874,456	9,640,840	△766,384
退職給付費用	0	57,311	△57,311
法定福利費	5,768,629	8,797,098	△3,028,469
会議費	24,239,128	20,401,682	3,837,446
旅費交通費	21,080,012	19,320,854	1,759,158
通信運搬費	4,063,919	9,890,558	△5,826,639
減価償却費	1,472,512	1,992,113	△519,601
修繕費	736,996	718,719	18,277

正味財産増減計算書

(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
消 耗 品 費	4,809,605	5,227,188	△417,583
印 刷 製 本 費	36,623,467	43,318,962	△6,695,495
光 熱 水 料 費	171,347	168,099	3,248
賃 借 料	573,335	9,627,858	△9,054,523
支 払 リ 一 ス 料	50,664	9,960	40,704
保 険 料	33,880	35,764	△1,884
諸 謝 金	11,013,227	10,992,578	20,649
租 税 公 課	4,177,720	3,795,325	382,395
支 払 負 担 金	443,542	2,350,390	△1,906,848
支 払 助 成 金	545,000	350,000	195,000
委 託 彰 費	44,677,833	43,619,355	1,058,478
表 雑 費	2,721,139	2,557,347	163,792
管 理 費	1,065,575	1,100,571	△34,996
給 料 手 当	58,269,027	41,835,926	16,433,101
臨 時 雇 賃 金	22,069,100	10,863,958	11,205,142
退 職 給 付 費	9,736,939	2,432,340	7,304,599
法 定 福 利 生 費	0	12,580	△12,580
福 利 生 費	4,718,500	1,528,651	3,189,849
会 費	61,382	153,898	△92,516
旅 費 交 通 費	443,659	403,582	40,077
通 信 運 搬 費	5,858,675	4,847,826	1,010,849
減 価 償 却 費	1,522,611	825,516	697,095
消 耗 品 費	48,043	50,366	△2,323
修 繕 費	16,906	155,338	△138,432
印 刷 製 本 費	1,000,438	1,022,881	△22,443
光 熱 水 料 費	127,060	170,592	△43,532
賃 借 料	281,818	288,612	△6,794
支 払 リ 一 ス 料	447,155	1,336,743	△889,588
諸 謝 金	2,329,502	1,274,960	1,054,542
租 税 公 課	0	71,609	△71,609
支 払 負 担 金	361,395	12,850	348,545
委 託 彰 費	2,170,976	2,674,380	△503,404
表 雑 費	6,976,944	13,453,389	△6,476,445
雑 費	97,924	255,855	△157,931
経 常 費 用 計	269,368,074	285,299,861	△15,931,787
評価損益等調整前当期経常増減額	△43,048,621	△14,824,118	△28,224,503
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△43,048,621	△14,824,118	△28,224,503
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金戻入益	0	0	0
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経常外費用	7,456	0	7,456
経 常 外 費 用 計	△7,456	0	△7,456
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△43,056,077	△14,824,118	△28,231,959
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	289,694,522	304,518,640	△14,824,118
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	246,638,445	289,694,522	△43,056,077
II 指定正味財産増減の部			
受 取 補 助 金 等	0	0	0
受 取 民 間 補 助 金	0	0	0
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	0	0	0
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正味財産期末残高	246,638,445	289,694,522	△43,056,077

正味財産増減計算書内訳表

(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	6,588	0	6,588
基本財産運用益	0	6,588	0	6,588
特定資産運用益	24,463	281,061	0	305,524
退職給付引当資産運用益	16,169	253,977	0	270,146
標準物質開発基金運用益	1,643	19,543	0	21,186
分析技術教育基金運用益	295	3,500	0	3,795
国際交流事業基金運用益	△1,403	1,723	0	320
分析化学研究奨励基金運用益	2,199	0	0	2,199
預り保証金引当預金運用益	0	2,318	0	2,318
支部研究懇談会特定預金運用益	5,560	0	0	5,560
受取入金	4,000	203,000	0	207,000
受取会費	64,587,099	14,327,391	0	78,914,490
正会員会費	25,880,322	6,433,178	0	32,313,500
学生会員会費	2,014,998	500,877	0	2,515,875
維持会員会費	10,060,376	2,500,749	0	12,561,125
特別会員会費	10,245,127	2,546,673	0	12,791,800
公益会員会費	9,437,486	2,345,914	0	11,783,400
支部研究懇談会会費	6,668,790	0	0	6,668,790
賛助会員会費	280,000	0	0	280,000
事業収益	142,070,600	0	0	142,070,600
購読料収入	8,295,080	0	0	8,295,080
年会収入	6,458,334	0	0	6,458,334
討論会収入	12,115,995	0	0	12,115,995
講演会収入	3,355,540	0	0	3,355,540
講習会収入	27,595,157	0	0	27,595,157
研究懇談会収入	922,529	0	0	922,529
技能試験収入	9,358,992	0	0	9,358,992
分析士事業収入	4,992,221	0	0	4,992,221
S収入	426,854	0	0	426,854
印税収入	1,532,215	0	0	1,532,215
教育ビデオ・DVD頒布収入	2,589,000	0	0	2,589,000
標準物質頒布収入	23,387,890	0	0	23,387,890
広告料収入	31,228,609	0	0	31,228,609
別刷頒布収入	8,571,033	0	0	8,571,033
複写権使用料収入	561,151	0	0	561,151
技能試験受託収入	0	0	0	0
JIS改正受託収入	680,000	0	0	680,000
受取補助金等	3,292,000	0	0	3,292,000
受取民間補助金	3,062,000	0	0	3,062,000
受取自治体補助金	230,000	0	0	230,000
受取寄附金	844,872	0	0	844,872
受取寄附金	844,872	0	0	844,872
雑収	276,013	402,386	0	678,399
受取利息	11,400	73,407	0	84,807
雑収	264,613	328,979	0	593,592
経常収益計	211,099,047	15,220,406	0	226,319,453
(2) 経常費用				
事業費	211,099,047	0	0	211,099,047
給料手当	37,957,061	0	0	37,957,061
臨時雇賃金	8,874,456	0	0	8,874,456
法定福利費	5,768,629	0	0	5,768,629
会議費	24,239,128	0	0	24,239,128
旅費交通費	21,080,012	0	0	21,080,012
通信運搬費	4,063,919	0	0	4,063,919
減価償却費	1,472,512	0	0	1,472,512
修繕費	736,996	0	0	736,996

正味財産増減計算書内訳表

(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
消 耗 品 費	4,809,605	0	0	4,809,605
印 刷 製 本 費	36,623,467	0	0	36,623,467
光 熱 水 料 費	171,347	0	0	171,347
賃 借 料	573,335	0	0	573,335
支 払 一 料	50,664	0	0	50,664
保 険 料	33,880	0	0	33,880
諸 謝 金	11,013,227	0	0	11,013,227
租 税 公 課	4,177,720	0	0	4,177,720
支 払 負 担 金	443,542	0	0	443,542
委 払 助 成 金	545,000	0	0	545,000
表 彰 費	44,677,833	0	0	44,677,833
雑 費	2,721,139	0	0	2,721,139
管 理 費	1,065,575	0	0	1,065,575
給 料 手 当	0	58,269,027	0	58,269,027
臨 時 雇 賃 金	0	22,069,100	0	22,069,100
法 定 福 利 費	0	9,736,939	0	9,736,939
福 利 厚 生 費	0	4,718,500	0	4,718,500
会 議 費	0	61,382	0	61,382
旅 費 交 通 費	0	443,659	0	443,659
通 信 運 搬 費	0	5,858,675	0	5,858,675
減 価 償 却 費	0	1,522,611	0	1,522,611
消 耗 品 費	0	48,043	0	48,043
修 繕 費	0	16,906	0	16,906
印 刷 製 本 費	0	1,000,438	0	1,000,438
光 熱 水 料 費	0	0	0	127,060
賃 借 料	0	281,818	0	281,818
支 払 一 料	0	447,155	0	447,155
租 税 公 課	0	2,329,502	0	2,329,502
支 払 負 担 金	0	361,395	0	361,395
委 託 費	0	2,170,976	0	2,170,976
雑 費	0	6,976,944	0	6,976,944
	0	97,924	0	97,924
経 常 費 用 計	211,099,047	58,269,027	0	269,368,074
評価損益等調整前当期経常増減額	0	△43,048,621	0	△43,048,621
評 価 損 益 等 計	0	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	0	△43,048,621	0	△43,048,621
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
退職給付引当金戻入益	0	0	0	0
経 常 外 収 益 計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経 常 外 費 用 計	1,850	5,606	0	7,456
当 期 経 常 外 増 減 額	△1,850	△5,606	0	△7,456
他 会 計 振 替 額	33,223,685	△33,223,685		0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	33,221,835	△76,277,912	0	△43,056,077
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	151,081,697	138,612,825	0	289,694,522
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	184,303,532	62,334,913	0	246,638,445
II 指定正味財産増減の部				
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額		0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高		0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高		0	0	0
III 正味財産期末残高	184,303,532	62,334,913	0	246,638,445

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

- (1) 満期保有目的有価証券の評価基準及び評価方法
償却原価法を採用している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
先入先出法による原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産
建物…定額法を採用している。(ただし、平成10年3月以前に取得した建物については定率法を採用している。)
器具備品…定率法を採用している。
無形固定資産
ソフトウェア・商標権…定額法を採用している。
- (4) 引当金の計上基準
賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期の負担に帰属する金額を計上している。
退職給付引当金…職員の退職給与の支給に備えるため、退職金支給規程に基づき期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税抜き方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	76,303,005	6,146	10,036,000	66,273,151
標準物質開発基金	64,721,814	21,186	0	64,743,000
分析技術教育基金	12,967,288	4,387	0	12,971,675
国際交流事業基金	22,038,000	8,176	1,407,101	20,639,075
分析化学研究奨励基金	8,370,364	2,199	0	8,372,563
預り保証金引当預金	11,000,000	0	0	11,000,000
支部研究懇談会特定預金	28,898,695	7,695	1,368,453	27,537,937
小計	224,299,166	49,789	12,811,554	211,537,401
合計	234,299,166	49,789	12,811,554	221,537,401

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	—	(10,000,000)	—
小計	10,000,000	—	(10,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	66,273,151	—	—	(66,273,151)
標準物質開発基金	64,743,000	—	(64,743,000)	—
分析技術教育基金	12,971,675	—	(12,971,675)	—
国際交流事業基金	20,639,075	—	(20,639,075)	—
分析化学研究奨励基金	8,372,563	—	(8,372,563)	—
預り保証金引当預金	11,000,000	—	—	(11,000,000)
支部研究懇談会特定預金	27,537,937	—	(27,537,937)	—
小計	211,537,401	—	(134,264,250)	(77,273,151)
合計	221,537,401	—	(144,264,250)	(77,273,151)

財務諸表に対する注記

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
建 物	62,107,932	47,319,343	14,788,589
器 具 備 品	6,147,413	6,017,275	130,138
合 計	68,255,345	53,336,618	14,918,727

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳 簿 価 額	時 価	評 価 損 益
国 債			
第 88 回 利 付 国 債 (5 年)	60,003,000	60,012,000	9,000
合 計	60,003,000	60,012,000	9,000

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交 付 者	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高	貸借対照表上の記載区分
民間補助金						
先端分析技術賞補助金	(社)日本分析機器工業会	0	900,000	900,000	0	
先端分析技術賞補助金	(一財)化学物質評価研究機構	0	450,000	450,000	0	
放射能標準物質開発	(学)根津育英会	0	442,000	442,000	0	
合 計		0	1,792,000	1,792,000	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当事項はありません。

付 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記3「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載をしているため、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目 的 使 用	そ の 他	
賞 与 引 当 金	3,810,000	2,289,000	3,810,000	0	2,289,000
退職給付引当金(注)	93,380,838	0	0	0	93,380,838

(注) 退職給付引当金は退職金支給規定に基づき計上していたが、今後規定の見直しも含めた人件費の対策が必要であることから今期合理的に見積もることができない。
このため当期増加額を計上していない。従来と同様の計算による当期の増加額は4,308,913円であり当期はこの分正味財産減少額が過少である。
又、同額退職引当金期末計上額も過少となる。

財 産 目 録

(平成 27 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として (本部現金105,958)	935,041
預金	預金合計		95,130,395
	普通預金		79,705,372
	三井住友銀行五反田支店	本部	15,436,100
	三井住友銀行五反田支店	本部講習会口	5,783,145
	三井住友銀行新宿支店	本部	2,207,681
	三井住友銀行五反田支店	本部分析士口	2,343,855
	みずほ銀行五反田支店	本部	5,046,218
	三菱東京 UFJ 銀行五反田支店	本部	740,361
	北陸銀行もりの里支店	若手交流会	246,295
	支部/普通預金		26,880,785
	北洋銀行本店営業部	北海道支部	1,770,492
	七十七銀行大学病院前	東北支部	1,890,075
	みずほ銀行五反田支店	関東支部	10,741,795
	みずほ銀行名古屋支店	中部支部	1,967,589
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	4,785,320
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部近畿分析技術研究懇話会	1,010,106
	広島銀行西条支店	中国四国支部	2,928,309
	福岡銀行箱崎支店	九州支部	1,787,099
	研究懇談会/普通預金		17,328,509
	群馬銀行桐生支店	環境分析研究懇談会	891,156
	武蔵野銀行みずほ台支店	有機微量分析研究懇談会	1,732,850
	りそな銀行五反田支店	ガスクロマトグラフィー研究懇談会	1,792,058
	りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	1,122,585
	りそな銀行五反田支店	X線分析研究懇談会	2,071,009
	福岡銀行周船寺支店	分析試薬研究懇談会	312,563
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	5,305,369
	三菱 UFJ 銀行綱島支店	化学センサー研究懇談会	270,165
	荘内銀行宝田支店	電気泳動分析研究懇談会	573,534
	もみじ銀行西条支店	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	1,263,917
	福岡銀行姪浜支店	フローインジェクション分析研究懇談会	1,528,168
	三菱東京 UFJ 銀行平塚支店	熱分析研究懇談会	140,949
	三井住友銀行八千代支店	レアメタル分析研究懇談会	16,294
	三菱東京 UFJ 銀行西院支店	受託分析研究懇談会	307,892
	山梨中央銀行武田通支店	第75回討論会実行委が使用	1,236,072
	西日本シティ銀行周船寺支店	第64年会実行委が使用	2,456,351
	ゆうちょ銀行 (通常貯金)		388,616
		有機微量分析研究懇談会	43,479
		イオンクロマトグラフィー研究懇談会	337,349
		溶液反応化学研究懇談会	7,788
	ゆうちょ銀行 (口座振替)	運営資金として	7,692,119
		本部	4,055,481
		大会口	169,000
		環境分析研究懇談会	386,633
		有機微量分析研究懇談会	291,703
		イオンクロマトグラフィー研究懇談会	57,500
		フローインジェクション分析研究懇談会	793,535
		表示・起源分析技術研究懇談会	1,902,567
		レアメタル分析研究懇談会	35,700
	定期預金		7,344,288
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	505,655
	広島銀行西条支店	中国四国支部	1,300,000
	りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	1,274,662
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	4,263,971
売掛金	標準物質, 教育 DVD	公益目的事業での販売商品に対する未収額	4,872,312
未収収益	第88回利付国債 (5 年) の未収利息	退職給付引当資産に係る有価証券の未収利息	133,957

財 産 目 録

(平成 27 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	未収入金	広告料, 雑誌	公益目的事業で発行している雑誌の別刷印刷, 雑誌に掲載している広告料に対する未収額	5,995,044
	前払金	討論会経費, 会員管理, システム利用料の前払額等	討論会経費, 会員管理システム利用料 他	6,085,560
	年会			2,644,802
	討論会			1,764,140
	その他			1,143,138
	棚卸資産	会誌/標準物質/教育 DVD/分析士解説書	公益目的事業で販売している商品	26,371,006
	標準物質			23,750,764
	DVD			2,203,000
	その他			417,242
	貯蔵品	切手, 印紙, はがき	公益目的事業及び法人の管理業務で使用	72,672
一年以上以内回収長期貸付金	職員住宅購入資金貸付	長期貸付金の一年以上以内回収予定額	199,920	
仮払金	労働保険料	職員に対するもの	78,775	
流動資産合計				139,874,682
(固定資産)				
基本財産	定期預金	三井住友信託銀行芝営業部	運用益を管理費の財源として使用	10,000,000
特定資産	退職給付引当資産		職員の退職金の支払いのために使用	66,273,151
	普通預金	みずほ銀行五反田支店		6,270,151
	投資有価証券	大和証券五反田支店	満期保有目的で保有し, 運用益を退職金の支払の財源として使用	60,003,000
	標準物質開発基金		標準物質開発事業の積立資産であり, 運用益を本事業の財源として使用	64,743,000
	普通預金	三井住友銀行五反田支店		5,761,797
	定期預金	三井住友銀行五反田支店		50,000,000
	MMF	大和証券五反田支店		8,981,203
	預り保証金引当預金			11,000,000
	定期預金	三井住友信託銀行芝営業部	会誌広告で(株)明報社から受け入れた預金であり, 運用益を本事業の財源として使用	10,000,000
	定期預金	三井住友信託銀行芝営業部	標準物質の販売で西進商事(株)から受入れた預金で運用益を本事業の財源として使用	1,000,000
	国際交流事業基金		研究会事業の積立資産であり, 運用益を本事業の財源として使用	20,639,075
	普通預金	三井住友銀行五反田支店		20,639,075
	分析化学研究奨励基金		公益目的保有財産であり, 運用益を研究の奨励及び研究業績の表彰事業の財源として使用	8,372,563
	定期預金	三井住友信託銀行芝営業部		8,372,563
	分析技術教育基金		講演会事業の積立資産であり, 運用益を本事業の財源として使用	12,971,675
	普通預金	三井住友銀行五反田支店		2,971,675
	定期預金	三井住友銀行五反田支店		10,000,000
	支部研究懇談会特定預金		各支部研究懇談会の積立資産であり, 運用益を本事業の財源として使用	27,537,937
	普通預金	北洋銀行本店営業部	北海道支部	282,847
		七十七銀行大学病院前支店	東北支部	4,515,264
	みずほ銀行名古屋支店	中部支部	4,810,399	
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	2,301,252	
	もみじ銀行西条支店	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	2,019,178	
	三菱東京 UFJ 銀行藤ヶ丘支店	フローインジェクション分析研究懇談会	837,277	
定期預金	みずほ銀行五反田支店	関東支部	3,012,766	
	武蔵野銀行みずほ台支店	有機微量分析研究懇談会	2,413,191	
	りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	3,020,827	
	りそな銀行五反田支店	X線分析研究懇談会	2,327,216	
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	1,997,720	

財 産 目 録

(平成 27 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(固定資産) その他 固定資産	建物	282.8 m ² 東京都品川区西五反田	14,788,589
	器具備品	東京都品川区西五反田	130,138
	土地	38.78 m ² 東京都品川区西五反田	49,172,915
	電話加入権	3490-3351 他 6 本	28,000
	ソフトウェア	AS 論文投稿受付システム, 技能試験受付システム	711,047
	敷金	近畿支部	100,000
	商標権	英文誌, ぶんせき, 分析化学	173,286
長期貸付金	職員住宅購入資金貸付	2,527,560	
固定資産合計			289,168,936
資 産 合 計			429,043,618
(流動負債)	未払金	環境テクノス他	12,209,029
	前受会費	翌年度の会費の前受額	49,822,050
	前受講習会費	高分子分析研究懇談会	995,000
	前受購読料	翌年度購読料の前受額	3,707,866
	預り金	所得税 社会保険料等	6,742,859
	討論会		1,669,000
	健康保険料		424,912
	厚生年金保険料・厚生年金基金		1,476,531
	所得税		135,230
	源泉税		153,846
	住民税		238,600
	その他		94,740
	年会		2,550,000
	仮受金		52,631
	賞与引当金	職員 8 名の夏期賞与	2,289,000
未払消費税等		2,205,900	
流動負債合計			78,024,335
(固定負債)	退職給付引当金	職員 8 名の退職金	93,380,838
	預り保証金	(株)明報社 西進商事(株)	11,000,000
固定負債合計			104,380,838
負 債 合 計			182,405,173
正 味 財 産			246,638,445



監事監査報告書

平成 27 年 4 月 3 日

公益社団法人日本分析化学会

会長 寺前 紀夫 殿

公益社団法人日本分析化学会

監事 金澤秀子 
監事 浜川雅美 

私たち監事は、公益社団法人日本分析化学会の平成 26 年 3 月 1 日から平成 27 年 2 月 28 日までの平成 26 年度の監査を日本分析化学会監事監査規程に基づき実施しましたので、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、日本分析化学会監事監査規定第 7 条に定める監査事項について、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人に必要に応じて説明を求め、業務及び財産の状況を調査いたしました。

また、平成 26 年度事業報告書を受領し、さらに、計算書類（貸借対照表、貸借対照表内訳表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書並びに財産目録を受領し、これらの書類について監査しました。

2. 監査結果

- 一、事業報告書は、法令及び定款に従い、当公益社団法人の状況を正しく示していると認めます。
- 二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当公益社団法人の財産及び損益の状況を重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

平成 27 年度 予 算 書

(平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日)

(単位：円)

科 目	H27 予算額	H26 予算額 (補正後)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	6,000	6,568	△568
基本財産受取利息	6,000	6,568	△568
特定資産運用益	19,000	305,524	△286,524
退職給付引当資産	0	270,146	△270,146
標準物質開発基金	10,000	21,186	△11,186
国際交流事業基金	0	320	△320
研究奨励基金	6,000	2,199	3,801
分析技術教育基金	0	3,795	△3,795
預り保証金引当預金	3,000	2,318	682
支部研究懇談会特定預金	0	5,560	△5,560
受取入金会金	205,000	207,000	△2,000
受取入金会金	205,000	207,000	△2,000
受取会費	86,250,000	78,914,490	7,335,510
正会員受取会費	32,000,000	32,313,500	△313,500
学生会員受取会費	2,500,000	2,515,875	△15,875
維持会員受取会費	17,000,000	12,561,125	4,438,875
特別会員受取会費	17,000,000	12,791,800	4,208,200
公益会員受取会費	11,000,000	11,783,400	△783,400
支部研究懇談会受取会費	6,500,000	6,668,790	△168,790
賛助会員受取会費	250,000	280,000	△30,000
事業収益	126,820,000	142,070,600	△15,250,600
購読料収入	8,000,000	8,295,080	△295,080
年会収入	7,000,000	6,458,334	541,666
討論会収入	12,800,000	12,115,995	684,005
講演会収入	3,000,000	3,355,540	△355,540
講習会収入	27,860,000	27,595,157	264,843
研究懇談会収入	320,000	922,529	△602,529
技能試験収入	8,000,000	9,358,992	△1,358,992
分析士事業収入	5,000,000	4,992,221	7,779
S S 収入	50,000	426,854	△376,854
印税収入	1,000,000	1,532,215	△532,215
教材頒布収入	2,000,000	2,589,000	△589,000
標準物質収入	21,000,000	23,387,890	△2,387,890
広告料収入	21,040,000	31,228,609	△10,188,609
別刷頒布収入	8,650,000	8,571,033	78,967
複写権使用収入	400,000	561,151	△161,151
J I S 改正受託収入	700,000	680,000	20,000
受取補助金等	2,068,000	3,292,000	△1,224,000
受取民間補助金	2,008,000	3,062,000	△1,054,000
受取自治体補助金	60,000	230,000	△170,000
受取寄付金	300,000	844,872	△544,872
受取寄付金	300,000	844,872	△544,872
雑収益	664,000	678,399	△14,399
受取利息収入	4,000	84,807	△80,807
雑収	660,000	593,592	66,408
経常収益計	216,332,000	226,319,453	△9,987,453
(2) 経常費用			
事業費用	211,469,000	211,099,047	369,953
給与手当	34,800,000	37,957,061	△3,157,061
臨時雇賃金	9,700,000	8,874,456	825,544
退職給付費用	4,379,000	0	4,379,000
法定福利費	5,500,000	5,768,629	△268,629
会議費	24,000,000	24,239,128	△239,128
旅費交通費	21,000,000	21,080,012	△80,012
通信運搬費	4,000,000	4,063,919	△63,919

平成 27 年度 予算書

(平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日)

(単位：円)

科 目	H27予算額	H26予算額 (補正後)	増 減
減価償却費	1,500,000	1,472,512	27,488
消耗品費	5,000,000	4,809,605	190,395
修繕費	700,000	736,996	△36,996
印刷製本費	36,000,000	36,623,467	△623,467
光熱水料費	200,000	171,347	28,653
賃借料(リース除)	600,000	573,335	26,665
支払リース料	50,000	50,664	△664
支払保険料	40,000	33,880	6,120
支払謝金	11,000,000	11,013,227	△13,227
租税公課	4,500,000	4,177,720	322,280
支払負担金	450,000	443,542	6,458
支払助成金	550,000	545,000	5,000
委託託費	44,000,000	44,677,833	△677,833
表彰費	2,500,000	2,721,139	△221,139
雑費	1,000,000	1,065,575	△65,575
管理費	42,970,000	58,269,027	△15,299,027
給与手当	9,500,000	22,069,100	△12,569,100
臨時雇賃金	10,000,000	9,736,939	263,061
退職給付費	0	0	0
法定福利費	3,000,000	4,718,500	△1,718,500
福利厚生費	0	61,382	△61,382
会議費	500,000	443,659	56,341
旅費交通費	5,000,000	5,858,675	△858,675
通信運搬費	1,500,000	1,522,611	△22,611
減価償却費	50,000	48,043	1,957
消耗品費	20,000	16,906	3,094
修繕費	0	1,000,438	△1,000,438
印刷製本費	200,000	127,060	72,940
光熱水料費	300,000	281,818	18,182
賃借料(リース除)	3,000,000	447,155	2,552,845
支払リース料	2,300,000	2,329,502	△29,502
租税公課	300,000	361,395	△61,395
支払負担金	2,200,000	2,170,976	29,024
委託託費	5,000,000	6,976,944	△1,976,944
雑費	100,000	97,924	2,076
経常費用計	254,439,000	269,368,074	△14,929,074
評価損益調整前当期増減額	△38,107,000	△43,048,621	4,941,621
当期経常増減額	△38,107,000	△43,048,621	4,941,621
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
雑損失	0	7,456	△7,456
経常外費用計	0	7,456	△7,456
当期経常外増減額	0	△7,456	7,456
当期一般正味財産増減額	△38,107,000	△43,056,077	4,949,077
一般正味財産期首残高	246,638,445	289,694,522	△43,056,077
一般正味財産期末残高	208,531,445	246,638,445	△38,107,000
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	208,531,445	246,638,445	△38,107,000

第4回定時総会

開催日と場所

4月21日(火)13時より、東京都品川区西五反田1丁目32番2号、五反田文化会館第一会議室において開催した。

出席者

定款第15条の構成員総数121名中、出席者は99名あり、定款第21条の定足数に達し、本総会は成立した。

議長

定款第19条により寺前会長が議長を務め、議事録署名人(伊藤里恵、橋本 剛)を指名して次の審議を行った。

第1号議案 2014年度事業報告及び決算報告承認の件

紀本副会長より原案について説明があり、続いて渋川監事より監査について証言があった。

第2号議案 役員の一部解任及び2015~2016年度役員選任の件

寺前会長より丹羽理事及び渋川監事の辞職願並びに役員選任について説明があった。

第3号議案 特定預金の運用に関する規程改正の件

紀本副会長より説明があった。

第4号議案 2014年度事業計画及び収支予算承認の件

紀本副会長より原案について説明があった。

第5号議案 名誉会員推薦の件

鈴木理事より、野村俊明、小熊幸一、木原壮林、本水昌二、酒井忠雄、P. K. Dasgupta、寺前紀夫各氏(順不同)を名誉会員に推薦したい旨説明があった。

第6号議案 永年会員推薦の件

寺前会長より、栗木武男、高田九二雄、田端正明、岩本悦郎、上田穰一、善木道雄、渡辺邦洋、小倉興太郎、山崎素直、小川俊夫、奥山典生、日下部孝雄、副島啓義、星野忠夫、藤原 譲各氏(順不同)を永年会員に推薦したい旨説明があった。

以上について審議を行った結果(2号議案に関しては候補者各人について審議を行った)、それぞれ満場一致で可決し、第4回定時総会を閉会した。

2015年度第1回理事会

4月3日(金)13時より本会会議室において開催(出席者:寺前会長ほか19名)。

承認事項(審議事項を含む):前回理事会議事録の確認、補正予算と2015年度予算の件、名誉会員推薦の件、推戴式の会場、第4回定時総会の議案再確認の件、会計処理規程一部改訂の件、退職給付引当資産の一部取崩しの件、2015年度役員に関する件、2014年度事業報告の件、2014年度会計報告及び監査報告の件、2015年度理事会への送付事項の件、支部役員に関する件、職員に関する件、五反田サンハイツの部屋の売却の件、年退職者の雇用契約または嘱託雇用の件、「ぶんせき」年間計画の件、2nd ASASの件、他機関への研究助成推薦の件、Federation of Asian Chemical Societiesの件、本会のJIS取り組み状況の件、会員入・退会の件、他学協会からの共催等名義申請の件、その他の各件。なお、特別会員:梶伊國屋書店<ケアオフ(日本たばこ)様分、日本精蠟株式会社、正・学生会員(下表)の入会が承認された。

新入会の正会員・学生会員

氏名	所属機関	紹介者
【北海道支部】		
牛島 健介	北海道大学大学院工学研究院	(福嶋 正巳)
【東北支部】		
尾高 雅文	秋田大学	(阿部 健一)
渡邊 義孝	福島県警察本部 刑事部 科学捜査研究所	(阿部 健一)
田村 周士	秋田大学工学資源学部	(藤原 一彦)
月岡 聖也	日本大学工学部	(沼田 靖)
富樫 光貴	山形大学大学院 理工学研究科	(阿部 健一)
北條 晴佳	秋田大学工学資源学部	(藤原 一彦)

【関東支部】

井上 陽介	花王株式会社	(阿部 健一)
桑畑 周司	東海大学	(阿部 健一)
佐藤 久子	株式会社ベジテック	(阿部 健一)
芝本 幸平	首都大学東京	(阿部 健一)
杉本 直樹	国立医薬品食品衛生研究所	(阿部 健一)
関野 雅人	株式会社ヤマデンタル	(阿部 健一)
曾 湖烈	首都大学東京	(内山 一美)
高橋 智也	(一財)日本食品分析センター	(阿部 健一)
瀧本 勲	東京ガス株式会社	(阿部 健一)
竹峰 秀祐	環境調査研修所	(阿部 健一)
中角 優哉	東京ガス株式会社	(今西 宏徳)
袴田 厚	富士ゼロックス	(阿部 健一)
松村 洋寿	オレゴン健康科学大学	(阿部 健一)
吉兼 光葉	いであ株式会社	(阿部 健一)
蓬田 匠	日本原子力研究開発機構 原子力科学研究部門	(阿部 健一)
秋山 葵	東京工業大学	(火原 彰秀)
安達 亮	慶應義塾大学薬学部創薬物理化学講座	(金澤 秀子)
飯村 友輔	東京工業大学	(岡田 哲男)
飯室 翔平	東京薬科大学	(阿部 健一)
伊香 智史	千葉大学	(藤浪 真紀)
石原 雅史	東京理科大学	(阿部 健一)
井上 裕貴	東京工業大学	(阿部 健一)
越智 清志	茨城大学	(五十嵐 淑郎)
加藤 圭子	東洋大学	(阿部 健一)
小出 さやか	慶應義塾大学	(金澤 秀子)
笹本 なみ	東京理科大学理学部第一部応用化学科	(阿部 健一)
澤田 直輝	筑波大学	(中谷 清治)
芝 駿介	筑波大学連携大学院(産業技術総合研究所)	(阿部 健一)
清水 雅也	東京工業大学	(岡田 哲男)
代田 祐介	東京理科大学理学部第一部応用化学科	(阿部 健一)
杉田 巧	上智大学	(早下 隆士)
鈴木 崇人	上智大学	(早下 隆士)
高島 明里	筑波大学	(阿部 健一)
長谷川和貴	東京理科大学(理化学研究所)	(阿部 健一)
浜崎 真衣	慶應義塾大学薬学部創薬物理化学講座	(金澤 秀子)
比奈地 真之	群馬大学	(阿部 健一)
堀内 良介	上智大学	(早下 隆士)
皆川 晶平	上智大学	(早下 隆士)
芳澤 理志	群馬大学	(阿部 健一)
吉田 岳史	東洋大学	(阿部 健一)

【中部支部】

上田可代子	アイシン化工株式会社	(阿部 健一)
小島 慎司	東亜合成株式会社	(齋藤 彰良)
南谷 臣昭	岐阜県保健環境研究所	(江坂 幸宏)
三宅 由子	三重県工業研究所	(阿部 健一)
北野 拓磨	信州大学	(金 継業)
坂井田雅人	愛知工業大学	(光崎 茂松)
サリ トリスナ	クマラ	(金 継業)
地井 直行	信州大学	(澤井 光)
竹村 匡史	金沢大学自然科学研究科物質化学専攻	(澤井 光)
谷畑 壮磨	中部大学	(井上 嘉則)
八木 啓介	中部大学	(井上 嘉則)

【近畿支部】

高野 恵里	神戸大学	(阿部 健一)
高原 晃里	株式会社リガク	(阿部 健一)
中屋 慎	大阪府立大学	(阿部 健一)
百武健一郎	(一財)化学物質評価研究機構	(阿部 健一)
村上 祐美	長浜バイオ大学	(阿部 健一)
後藤 卓真	兵庫県立大学 大学院物質理学研究科 水谷研究室	(阿部 健一)

田淵 由莉	大阪市立大学大学院	(辻 幸一)
田村 守	大阪府立大学	(阿部 健一)
田村 拓磨	大阪府立大学	(椎木 弘)
陳 自義	大阪市立大学	(辻 幸一)
堀 昇平	神戸大学海事科学部	(福士 恵一)
宮井 萌	大阪府立大学	(阿部 健一)
森本 佳奈	関西学院大学理工学部	(阿部 健一)

【中国四国支部】

BIJU Vasudevan	鋳産業技術総合研究所	(呉 行正)
尾崎 真理	徳島大学薬学部	(阿部 健一)
久保 祐哉	徳島大学薬学部	(阿部 健一)
篠森 裕章	山口大学	(阿部 健一)
中川貴美子	山口大学工学部応用化学科	(阿部 健一)

【九州支部】

喜多條鮎子	九州大学	(阿部 健一)
高木 真理	三菱化学	(阿部 健一)
橋本 恭平	三菱重工業㈱	(阿部 健一)
徳田 成久	第一薬科大学	(黒木 広明)

【会員計報】

名誉会員 大倉洋甫氏, 永年会員 坂本 勉, 小山 隆, 狛武 三氏, 正会員 高木 英利氏の逝去の報に接しました。
本会はこのことで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます

2015 年度第 2 回理事会

4月21日(火)14時より五反田文化会館第一会議室において開催(出席者:鈴木会長ほか20名)。

承認事項(審議事項含む):会長,副会長,常務理事の選出,筆頭副会長の指名,幹事の指名,前回理事会議事録の確認報告,日本化学連合からの一時退会変更の件,第1回本部支部連絡会議の開催及び議案の件,本会の諸規定の件,2015年度理事職務分担・各種委員会委員委嘱の件,2015年度企画戦略会議議案の件,2015年度理事会開催の日取り及び定例議題の件,2015年度理事会への申し送り事項の件,役員等候補者推薦委員会委員委嘱並びに第1回委員会の電子メールによる開催の件,職員に関する件,年会・分析化学討論会開催依頼の件,年会におけるシンポジウムの件,平成27年度JIS原案共同作成契約の締結に関する件,会員入・退会の件,他学協会からの共催等名義申請の件,その他の各件。なお,公益会員:(公社)石川県薬剤師会,正・学生会員:下表の入会が承認された。

求人・求職

求人

H 201504 東北大学多元物質科学研究所教授募集(常勤任期なし)

バイオマテリアル・医用デバイス工学に関する研究分野。募集人員2名。担当大学院:(1)工学研究科バイオ工学専攻,または(2)生命科学研究所分子生命科学専攻・理学研究科化学専攻(兼)。資格:博士の学位を有する方。着任時期:決定後,できるだけ早く。公募締切:2015年9月1日(火)必着。提出書類など:以下URL参照(http://www.tagen.tohoku.ac.jp/modules/www00/index.php?content_id=107)。書

新入会の正会員・学生会員

氏名	所属機関	紹介者
----	------	-----

【関東支部】

青柳 重夫	北斗電工㈱	(珠玖 仁)
家田 曜世	(国)国立環境研究所	(小熊 幸一)
大類 保彦	科学警察研究所	(瀬戸 康雄)
竹林裕美子	理化学研究所	(小熊 幸一)
鄭 建	(国)放射線医学総合研究所	(小熊 幸一)
寺井 咲子	㈱ネクスコ・エンジニアリング新潟	(小熊 幸一)
野上 克宏	㈱ネクスコ・エンジニアリング新潟	(小熊 幸一)
奥村 紗未	筑波大学	(中谷 清治)
栗田 純志	筑波大学	(中谷 清治)
古川 琴浩	東京工業大学	(火原 彰秀)
松下 莉那	東京薬科大学	(稲垣 和三)

【中部支部】

正木 秀平	名古屋工業大学大学院	(小熊 幸一)
-------	------------	---------

【近畿支部】

上田 泰人	神戸市環境保健研究所	(小熊 幸一)
佐々木健次	田辺三菱製薬㈱	(山田 裕之)
笹原 里美	㈱JCL バイオアッセイ	(小熊 幸一)
高田 征明	アジレント・テクノロジー㈱	(行成 雅一)
山本 達也	大阪教育大学	(横井 邦彦)

【中国四国支部】

神谷 宏	島根県保健環境科学研究所	(清家 泰)
竹部 秀輔	山口大学工学部	(小熊 幸一)
中尾 美智	高知大学	(小熊 幸一)

【九州支部】

林田 康伸	九州工業大学工学部応用化学科機能設計化学研究室	(小熊 幸一)
バランサノ クリスティン	鹿児島大学理工学研究科	(富安 卓滋)
峰松 宏樹	九州工業大学	(小熊 幸一)
築瀬 梓	鹿児島大学大学院	(富安 卓滋)

【会員計報】

永年会員 河口広司氏の逝去の報に接しました。本会はこのことで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます

類提出・問合せ:〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1 東北大学多元物質科学研究所 第1人事小委員会委員長(電話:022-217-5625, E-mail: personnel1@tagen.tohoku.ac.jp)。

H 201505 金沢大学理工研究域物質化学系教員(助教)公募

募集人員:助教(任期なし)1名。所属:物質化学系(化学コース)。専門分野:分析化学(分析化学研究分野には井村久則教授および永谷広久准教授が在任)。担当授業:学類および大学院の専門分野の実験・研究指導と共通教育科目の実験など。応募資格:博士の学位を有する方(2016年3月末に学位取得見込みでの応募も可)。着任時期:2016年1月1日以降のできるだけ早い時期。締切:2015年9月25日(金)必着。連絡先:〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学理工研究域物質化学系化学コース長 横山明彦(電話:076-264-6127, E-mail: yokoyama@se.kanazawa-u.ac.jp)。詳細は<http://chem.s.kanazawa-u.ac.jp/>をご覧ください。